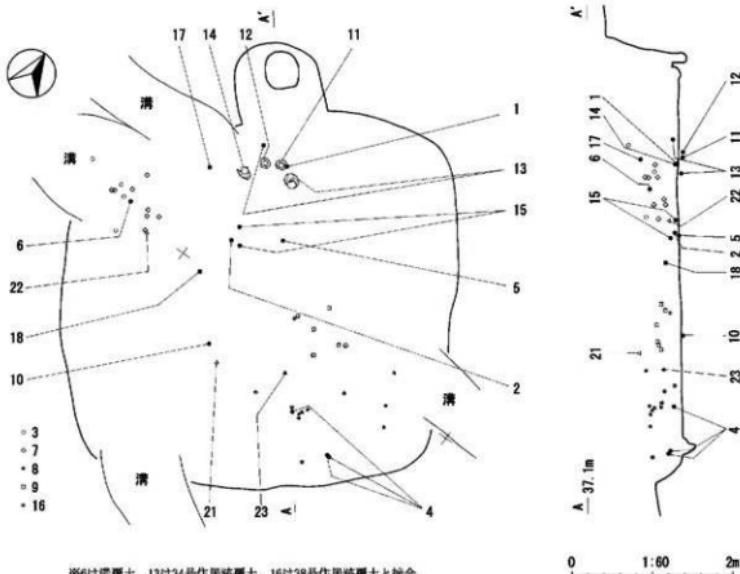


図26 第37号住居跡①



※6は腐植土、13は3号作周辺擾乱、16は3号作周辺擾乱と接合。

第37号住居跡

1番 1092/3	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1m) 1% T=+2% 腐入
2番 1092/1	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1m) 1% T=+2% 腐入
3番 1092/1	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 1% 腐入
4番 1092/1	黑色土	1092/8/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 1% 腐入
5番 1092/2	黑色土	1092/8/9 黄褐色土 (± 1~3m) 40% 1092/6 黑色土 30% 腐入
6番 1092/1	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 35% 腐入
7番 1092/2	黑色土	1092/8/9 黄褐色土 (± 1~2m) 35% 腐化物 1% 腐入
8番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 35% 腐化物 1% 腐入
9番 1092/2	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1m) 15% 腐化物 1% 腐入
10番 1092/2	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1m) 15% 腐化物 1% 腐入
11番 1092/2	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1m) 15% 腐化物 1% 腐入
12番 1092/2	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1m) 15% 腐化物 1% 腐入
13番 1092/2	黑色土	1092/2/5 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 1092/7/6 黄褐色土 (± 1m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 1% 腐入
14番 1092/2	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 1% 腐入
15番 1092/4	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 1% 腐入
16番 1092/4	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 1% 腐入
17番 1092/2	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 1% 腐入
18番 1092/8	黑色土	1092/3/6 黄褐色土 (± 1~2m) 40% 1092/4/9 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
19番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
20番 1092/6	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
21番 1092/2	黑色土	1092/4/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
22番 1092/4	黑色土	1092/4/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
23番 1092/8	黑色土	1092/7/6 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
24番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
25番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入
26番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 15% 黑褐色土 (± 1~2m) 15% 腐化物 (± 30cm) 1% 腐入

第37号住居跡Pit 1

1番 1092/1	黑色土	(柱状)
2番 1092/4	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1m) 30%

第37号住居跡Pit 1.2

1番 1092/1	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1m) 30%
2番 1092/1	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1m) 30%
3番 1092/1	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1m) 30%

第37号住居跡Pit 3

1番 1092/2	黑色土	黄褐色土 (± 1m) 腐入
2番 1092/2	黑色土	黄褐色土 (± 1m) 腐入

第37号住居跡Pit 4

1番 1092/3	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 30% 腐入
2番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 7% 腐入 (柱状)
3番 1092/4	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 30% 腐入

第37号住居跡 1号土坑

1番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 30% 腐入
2番 1092/4	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 7% 腐入

第37号住居跡 2号土坑

1番 1092/2	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 30% 腐入
2番 1092/4	黑色土	1092/6/9 黄褐色土 (± 1~2m) 7% 腐入

図27 第37号住居跡②

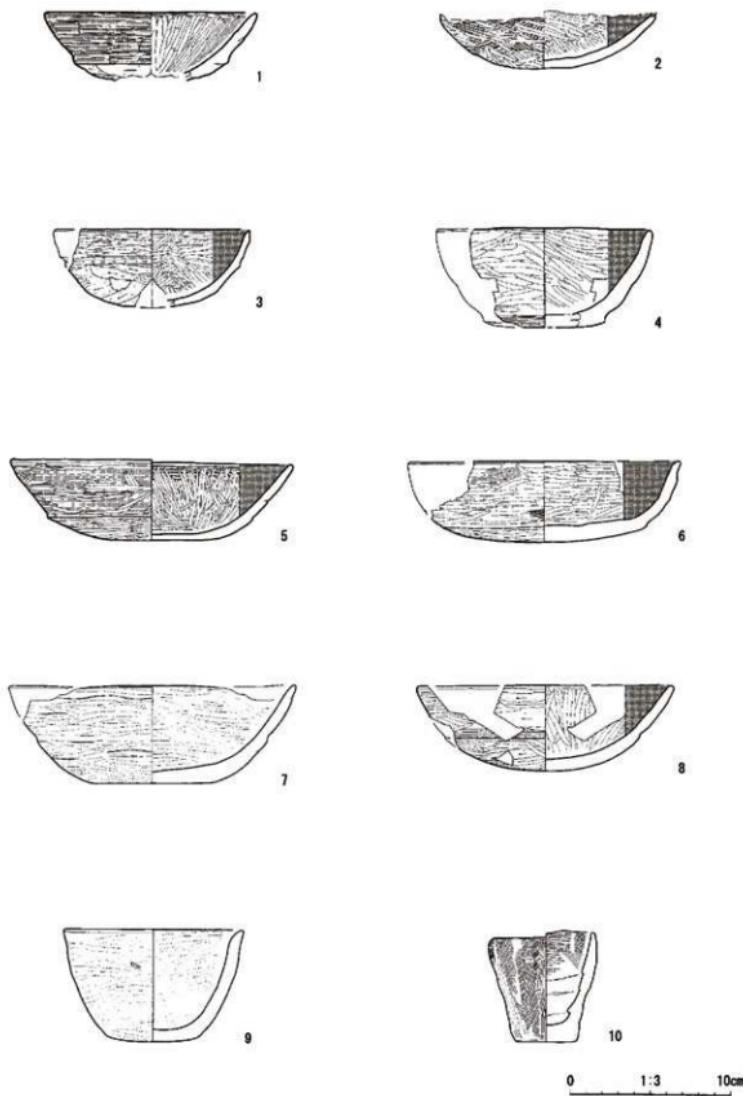
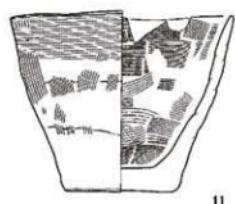
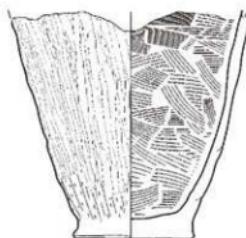


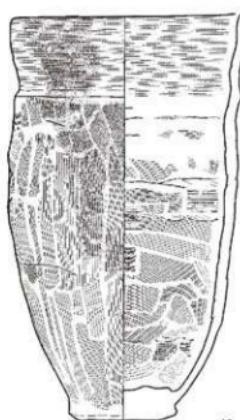
図28 第37号住居跡③



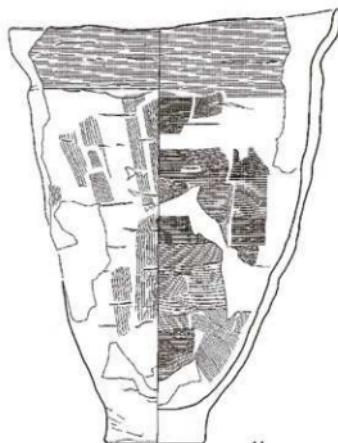
11



12



13



14

0 1:3 10cm

図29 第37号住居跡④

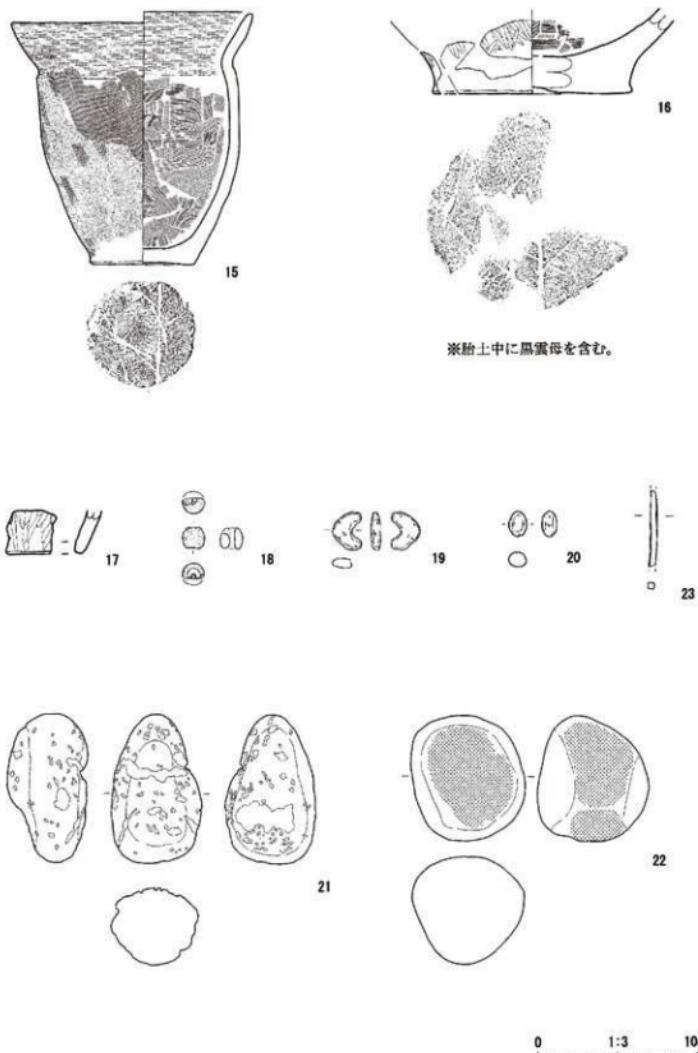


図30 第37号住居跡⑤

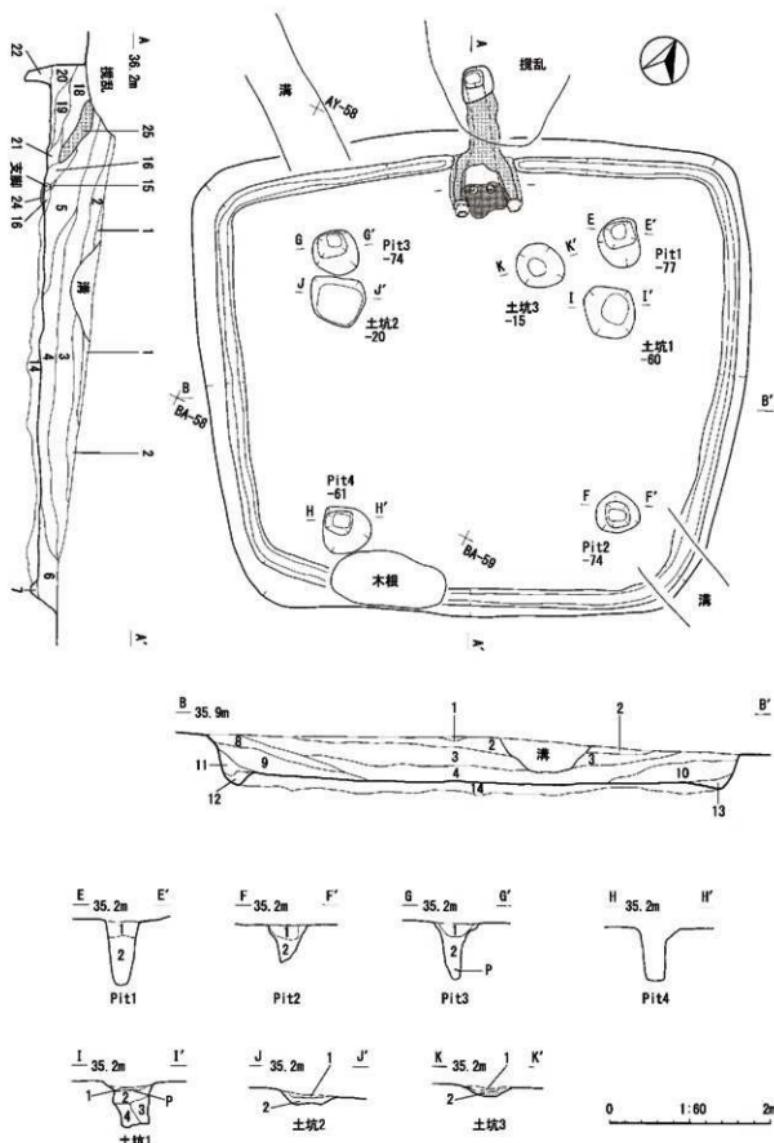
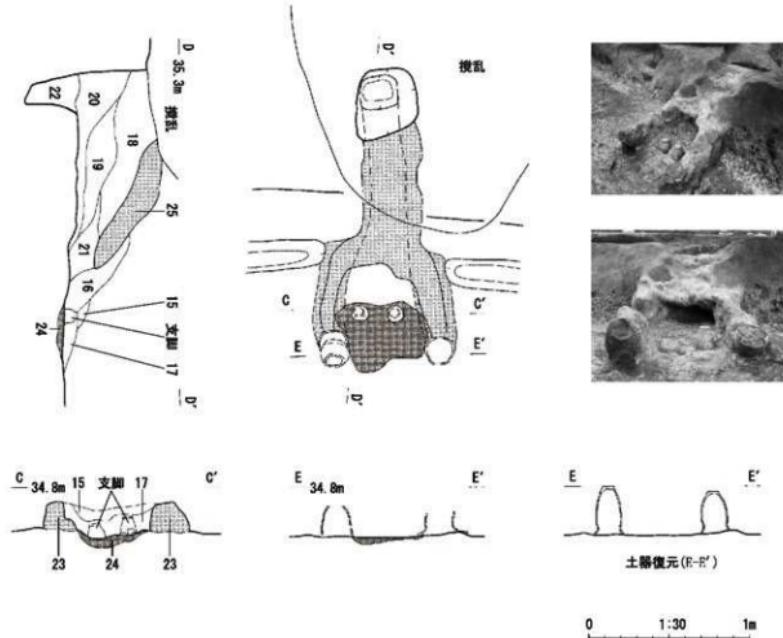


图31 第38号住居跡①



第33号住居跡

1番 10YR1.7/1	褐色土	10YR5/6黄褐色土(φ 3mm)2%混入。
2番 10YR1.7/1	褐色土	10YR5/6黄褐色土(φ 1~2mm)7%, 7a-a3%、10YR5/6暗赤褐色土42%混入。
3番 10YR1.7/1	褐色土	10YR5/6黄褐色土(φ 1~4mm)15%, 10YR5/6暗赤褐色土21%混入。
4番 10YR2/1	褐色土	10YR5/6黄褐色土(φ 1~3mm)10%, 10YR2/4灰褐色土3%, 黑褐色土1%混入。
5番 10YR2/1	黑褐色土	10YR5/6黄褐色土10%, 10YR2/4灰褐色土3%, 10YR5/6灰褐色土(φ 1~2mm)3%, 灰化和5%混入。
6番 10YR2/1	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~2mm)7%混入。
7番 10YR2/4	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~2mm)5%混入。
8番 10YR2/1	黑色土	10YR2/3深褐色土(φ 1~2mm)3%、10YR5/6灰褐色土(φ 1~2mm)3%混入。
9番 10YR2/3	黑褐色土	10YR2/3深褐色土(φ 1~2mm)30%, 10YR5/6灰褐色土(φ 1~2mm)3%混入。
10番 10YR2/1	黑褐色土	10YR2/1黑褐色土10%, 10YR5/6灰褐色土(φ 1~3mm)7%, 灰化物21%混入。
11番 10YR2/1	黑褐色土	10YR4/4褐色土10%混入。
12番 10YR2/4	灰褐色土	10YR4/4褐色土10%混入。
13番 10YR2/4	灰褐色土	10YR5/6灰褐色土20%, 10YR5/6灰褐色土(φ 1~10mm)5%, 黄褐色土混入(碳化)
14番 10YR2/1	灰褐色土	10YR5/6灰褐色土40%, 10YR5/6灰褐色土(φ 1~20mm)10%, 10YR2/1黑色土5%混入。
15番 10YR2/1	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土40%, 10YR5/6灰褐色土(φ 1~20mm)10%, 10YR2/1黑色土5%混入。
16番 10YR2/1	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土40%, 10YR5/6灰褐色土(φ 1~20mm)10%, 10YR2/1黑色土5%混入。
17番 7.10YR2/3	黑褐色土	(鉢の上)
18番 10YR2/3	黑褐色土	白色粘土混入。
19番 10YR2/3	黑褐色土	鐵成土+黑土。
20番 10YR2/3	黑褐色土	鐵成土+黑土。
21番 7.10YR4	褐色土	(鉢の上)
22番 10YR1.7/1	黑色土	與陶土+鐵成土混入。
23番 10YR1.7/1	褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~10mm)5%混入。
24番 10YR5/6	褐色土	(鉢の上)
25番 10YR5/3	にごり黄褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~10mm)5%混入(大井)

第33号住居跡Pit 1

1番 10YR2/1	褐色土	10YR4/3にごり黄褐色土少量。
2番 10YR2/3	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~80mm)中量混入。

第33号住居跡Pit 2

1番 10YR1.7/1	褐色土	黃褐色浮石粉少量混入。
2番 10YR2/3	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~80mm)中量混入。

第33号住居跡Pit 3

1番 10YR1.7/1	褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~10mm)微量混入。
2番 10YR2/2	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~10mm)微量混入。

第33号住居跡 1号坑

1層 10YR1.7/1	黑色土	10YR5/6灰褐色土50%混入。
2層 10YR2/3	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土50%混入。
3層 10YR2/3	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土50%混入。
4層 10YR2/3	黑褐色土	10YR5/6灰褐色土50%混入。

第33号住居跡 2号坑

1層 10YR1.7/1	黑色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~10mm)少量混入。
2層 10YR1.7/3	黑色土	10YR5/6灰褐色土(φ 1~10mm)少量混入。

第33号住居跡 3号坑

1層 10YR5/6	黑色土	10YR5/6灰褐色土50%混入。
2層 10YR5/4	黑色土	10YR5/6灰褐色土50%混入。

図32 第33号住居跡②

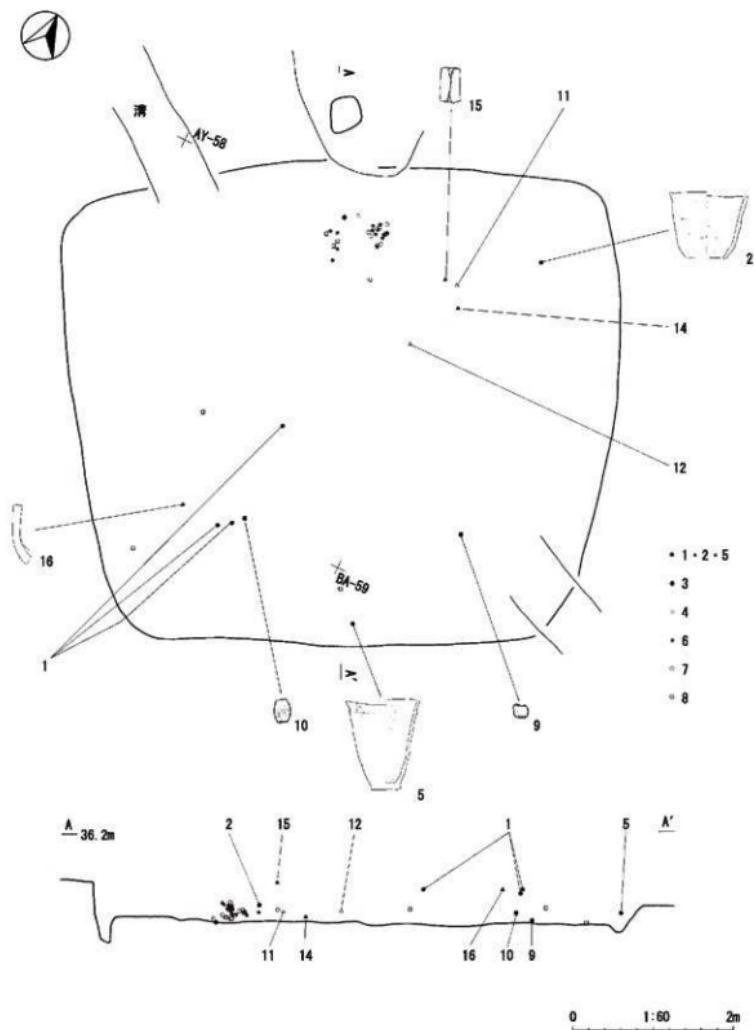


图33 第38号住居跡③

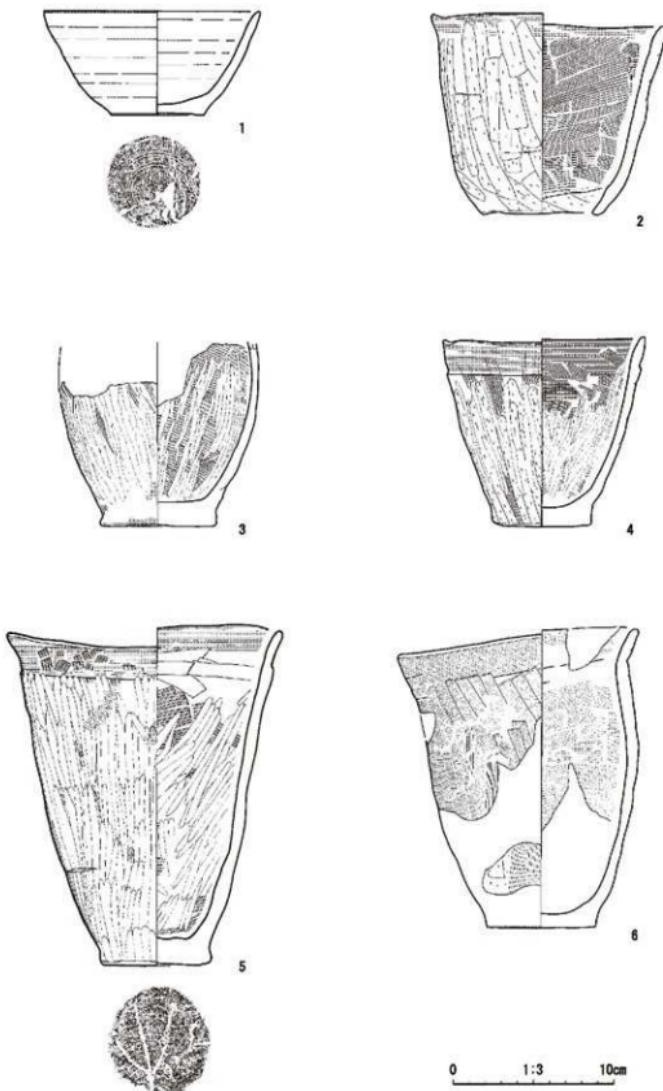


図34 第38号住居跡④

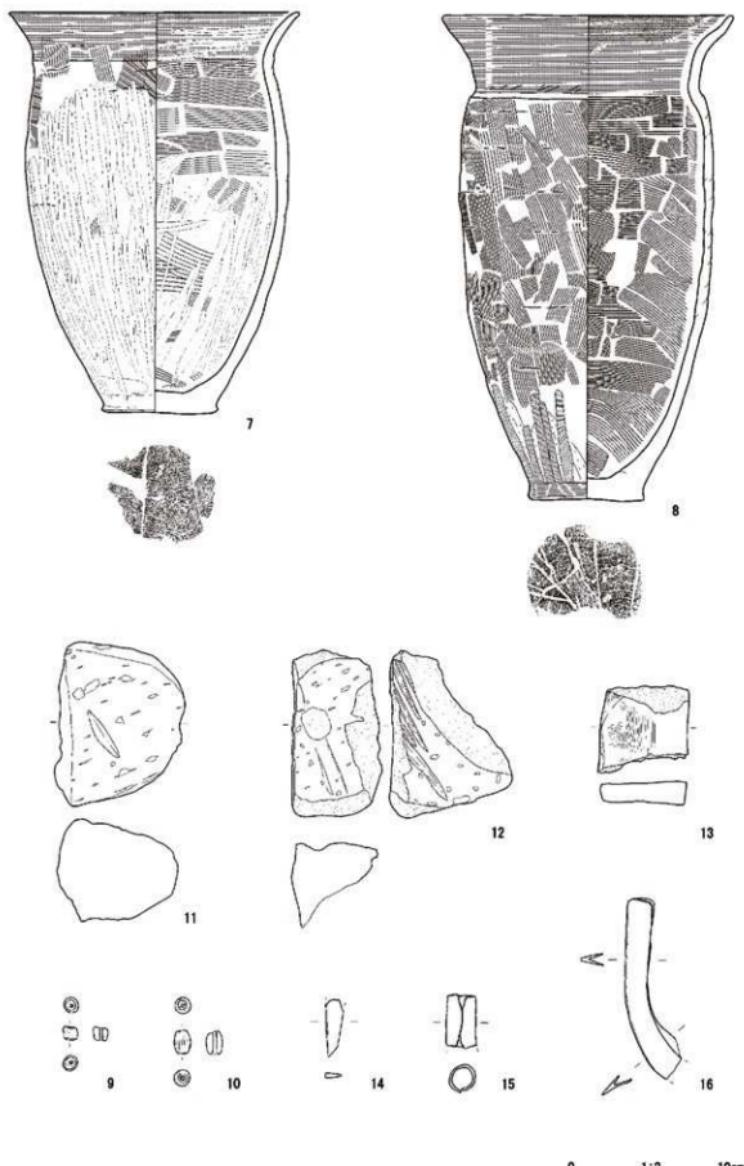


図35 第38号住居跡⑤

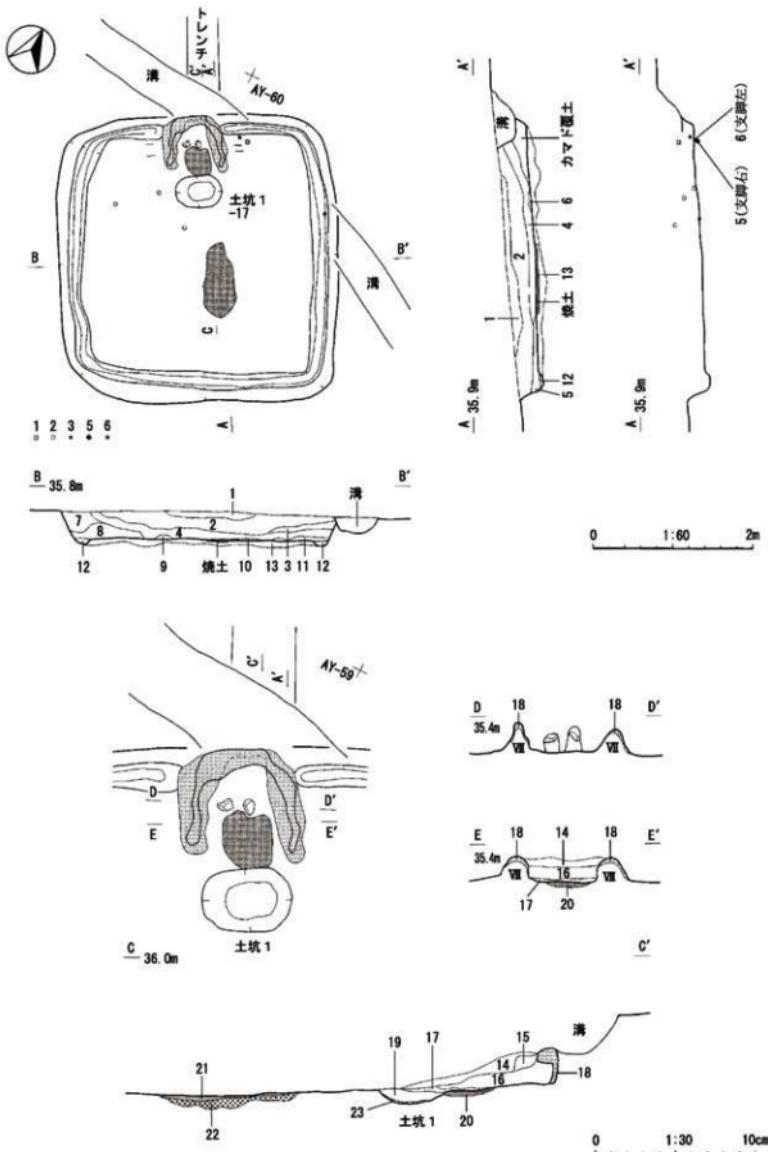


図36 第39号住居跡①

第39号住居跡							
1層	10T82/2	褐色土	10T86/9明黄色土(φ1~10mm)7%混入	12層	10T82/1	黑色土	10T86/9明黄色土50%混入
2層	10T82/1	黑色土	10T82/6褐色土(φ1~10mm)15%混入	13層	10T82/8	黄褐色土	10T82/2暗褐色土(φ1~10mm)30%
3層	10T82/3	褐色土	10T82/6褐色土7%	14層	10T82/1	黑色土	10T86/9明黄色土10%混入
4層	10T82/1	黑色土	10T86/8褐色土(φ1~20mm)20%				7.T86/6明黄色土2%
5層	10T82/4	暗褐色土	10T82/4褐色土7%混入	15層	7.T86/8	褐褐色土	10T86/6暗褐色土2%
6層	10T82/2	深褐色土	10T86/9褐色土20%混入	16層	7.T82/3	暗褐色土	2.T86/6褐色土10%混入
7層	10T83/3	褐色土	10T82/6褐色土10%	17層	7.S10/6	暗褐色土	7.T86/9明黄色土2%
8層	10T84/2	灰褐色土	10T86/9褐色土(φ1~20mm)9%	18層	10T82/3	灰褐色土上 10T82/4褐色土上	10T86/9褐色土2%混入
9層	10T83/1	暗褐色土	10T82/4褐色土10%混入	19層	10T82/2	暗褐色土	10T86/9褐色土50%
10層	10T82/3	深褐色土	10T86/9明黄色土(φ1~20mm)50%混入	20層	5T85/6	明赤褐色土上 10T82/4褐色土上	ST85/6明黄色土5%混入
11層	10T83/4	褐色土	10T86/9褐色土10%混入	21層	7.5T86/8	暗褐色土	灰化物5%混入
			10T86/9褐色土10%混入	22層	7.T85/8	明褐色土	10T83/2褐色土+50%, 10T85/8褐色土混入
				23層	10T86/4	灰褐色土	10T86/9褐色土10%混入

第39号住居跡 Pit 1
1層 10T82/2 褐色土 10T86/9明黄色土50%混入
2層 10T85/8 にぶい黃褐色粘土

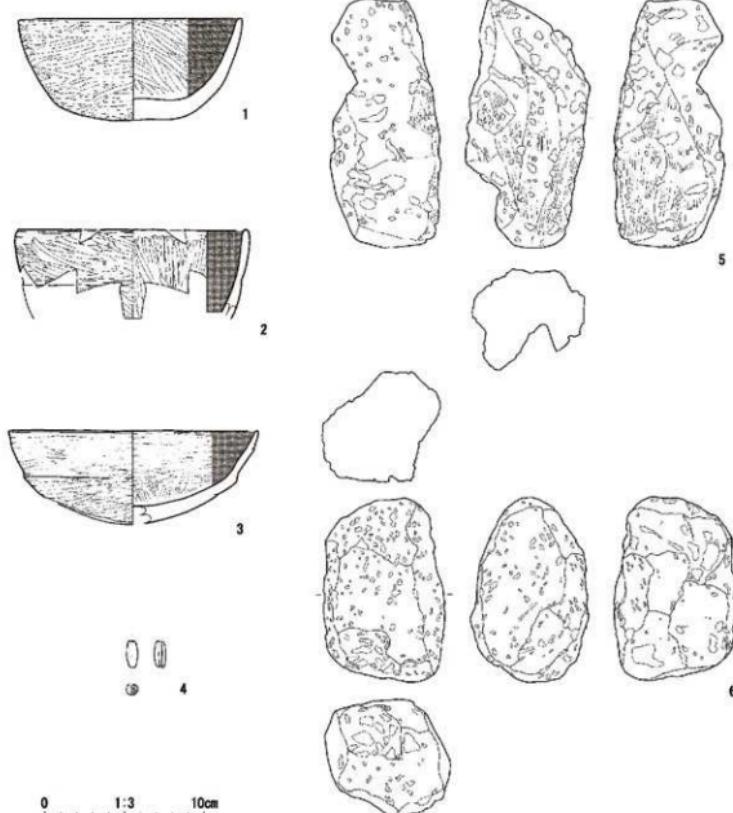


图37 第39号住居跡②

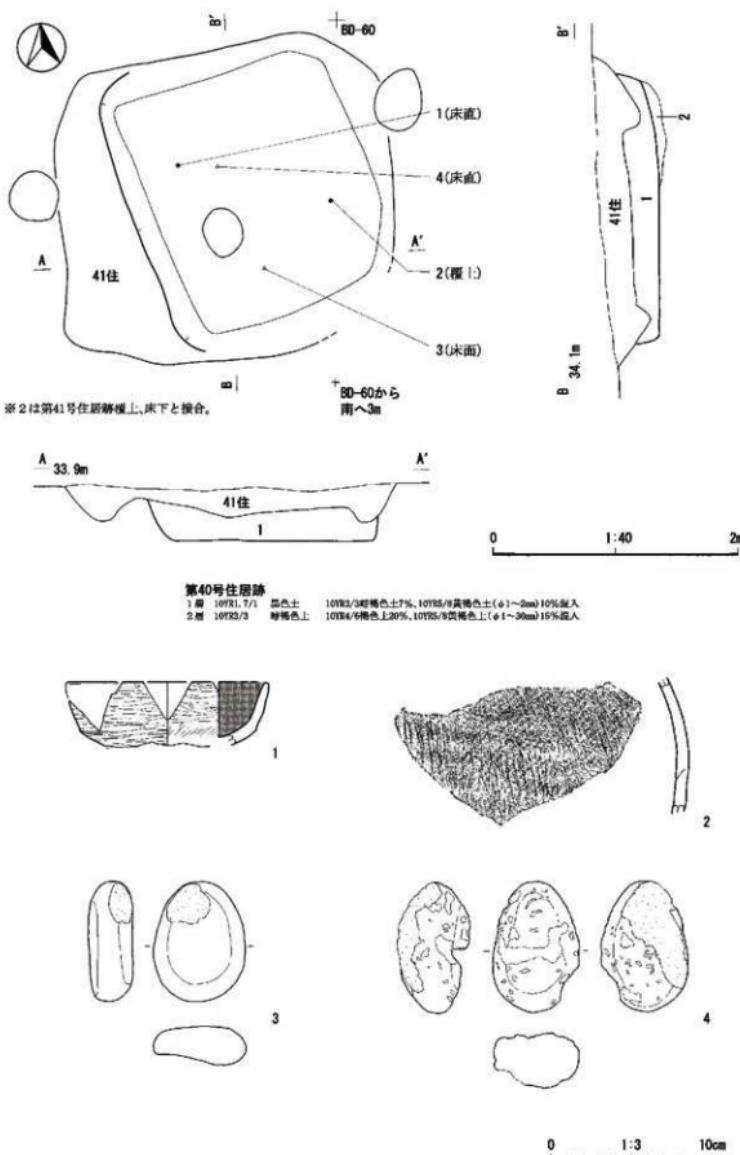


図38 第40号住居跡

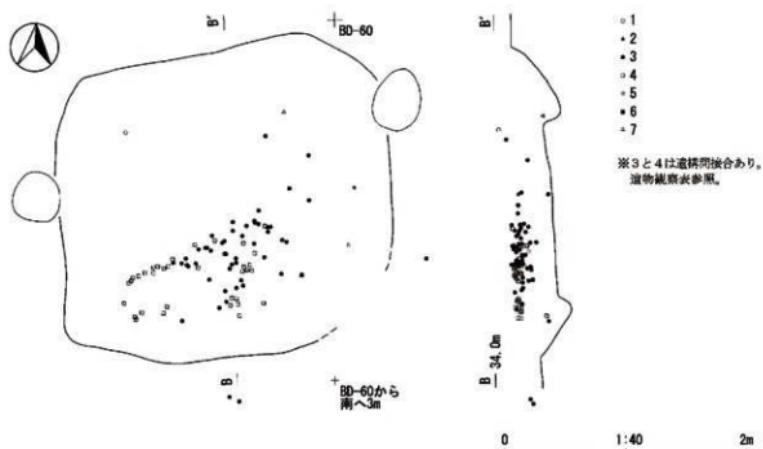
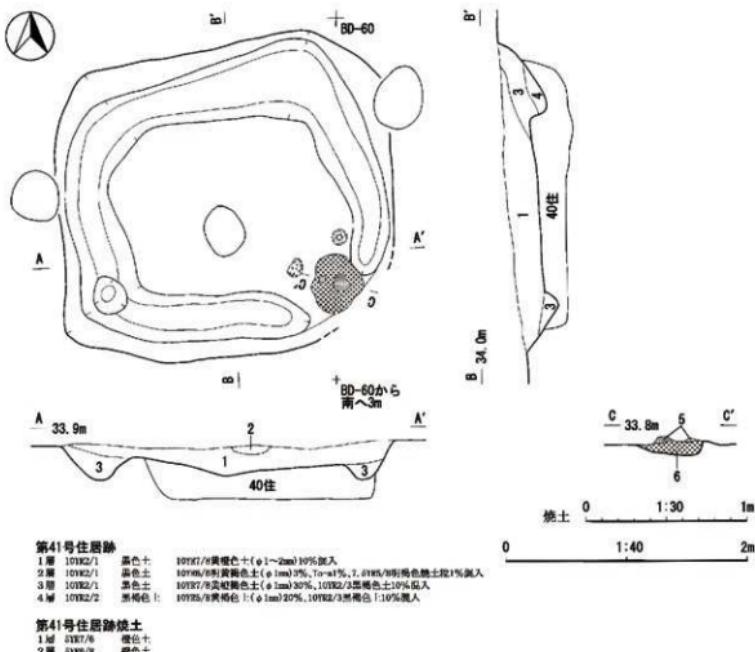


図39 第41号住居跡①

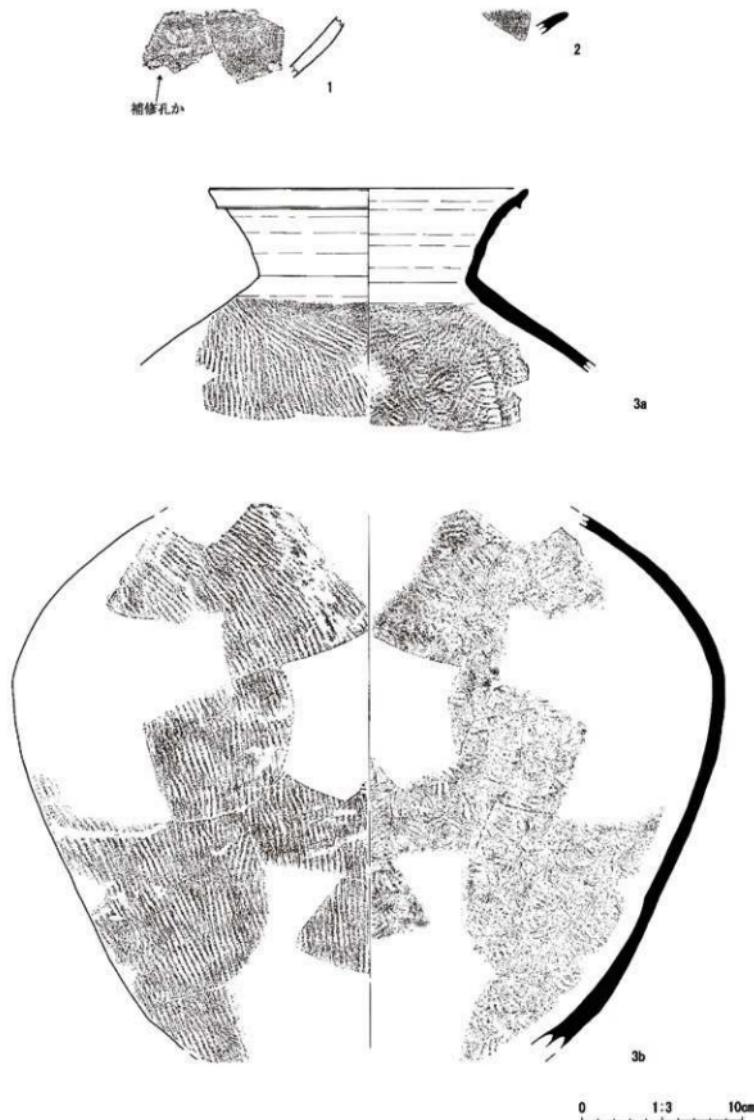
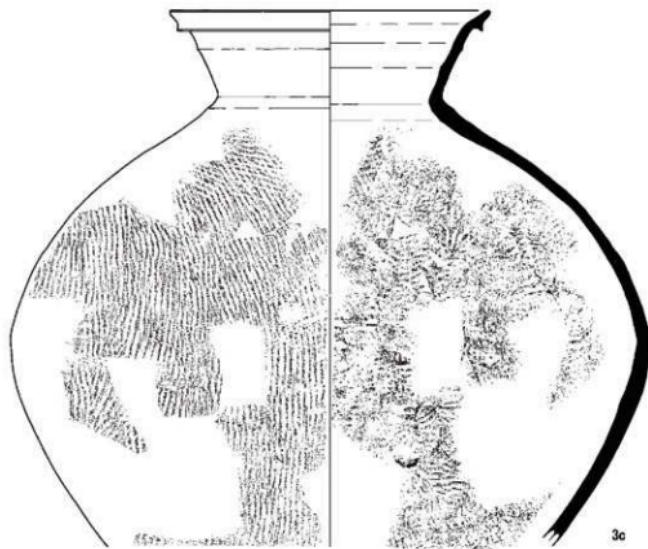
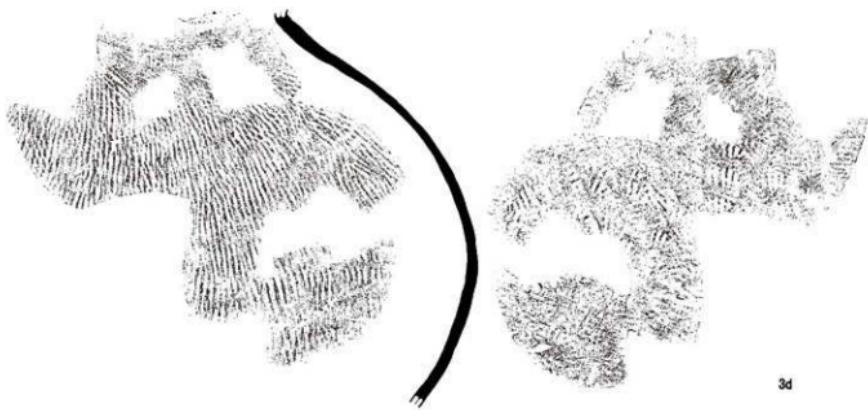


図40 第41号住居跡②



3c



3d

0 1:3 10cm

図41 第41号住居肺③

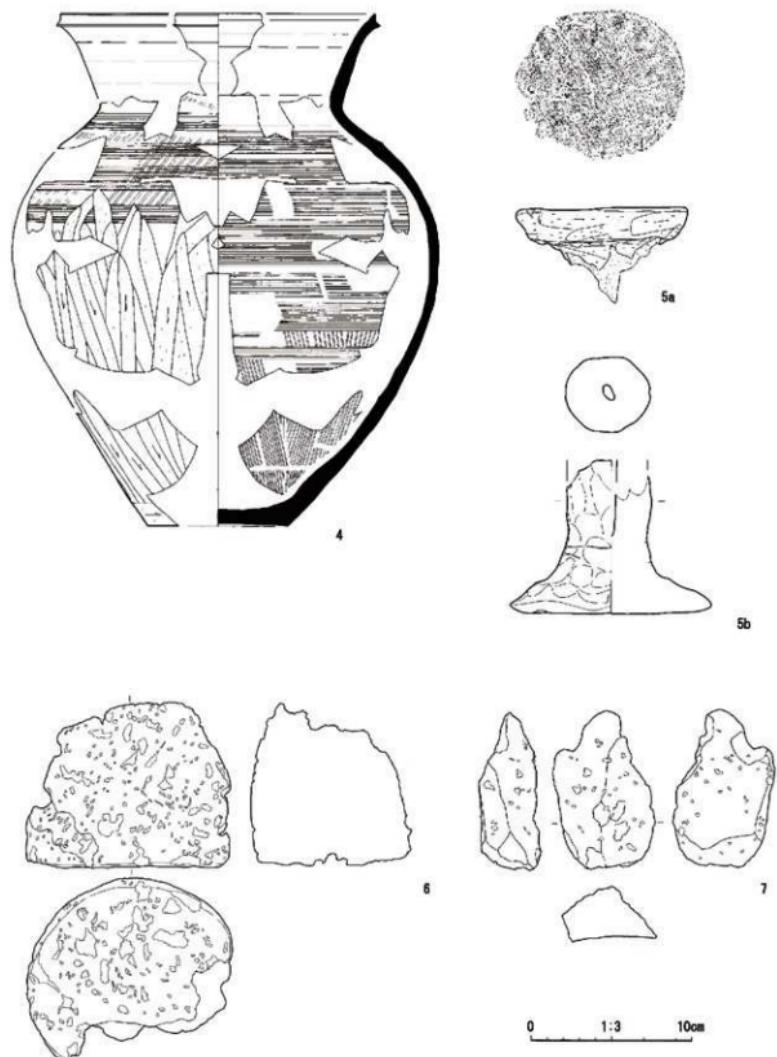
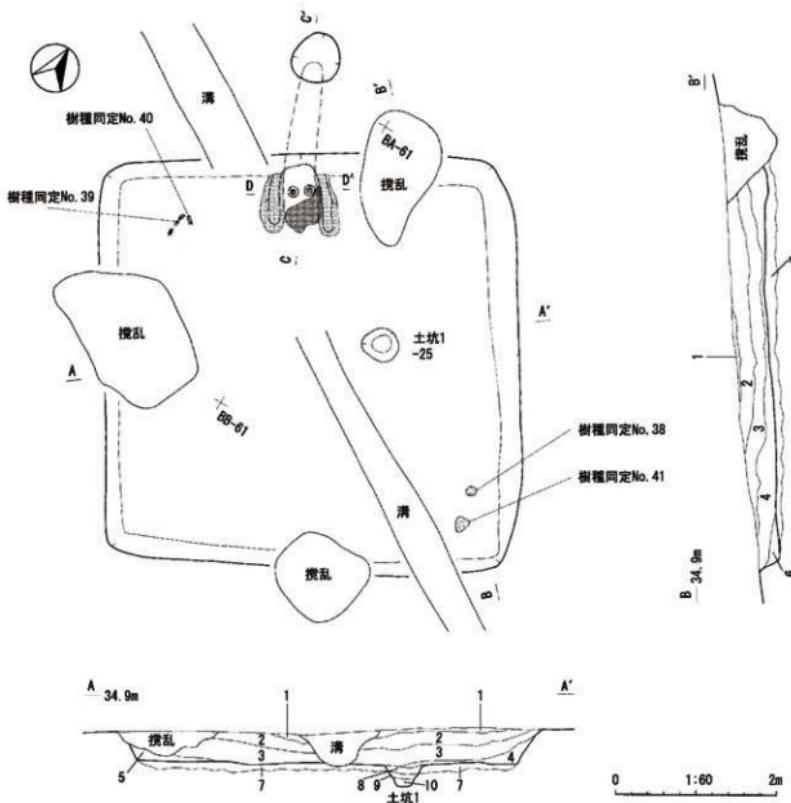
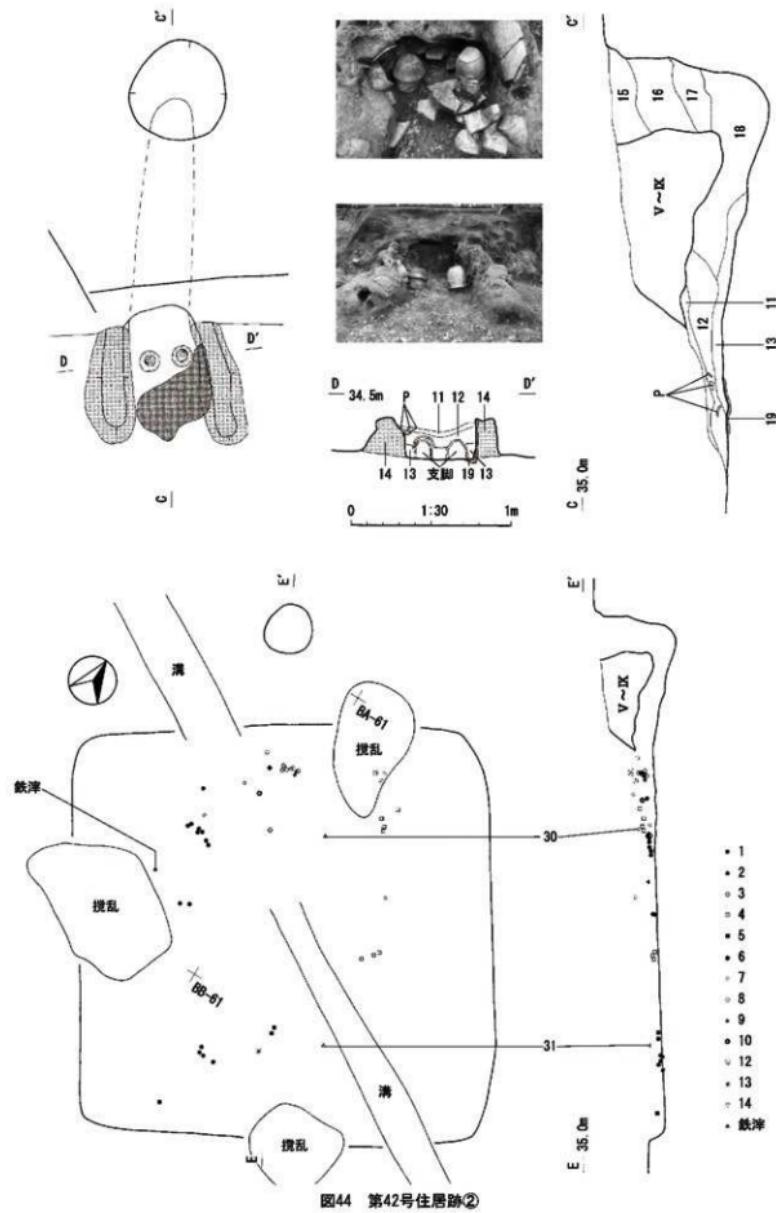


図42 第41号住居跡④



第42号住居跡

図43 第42号住居跡①



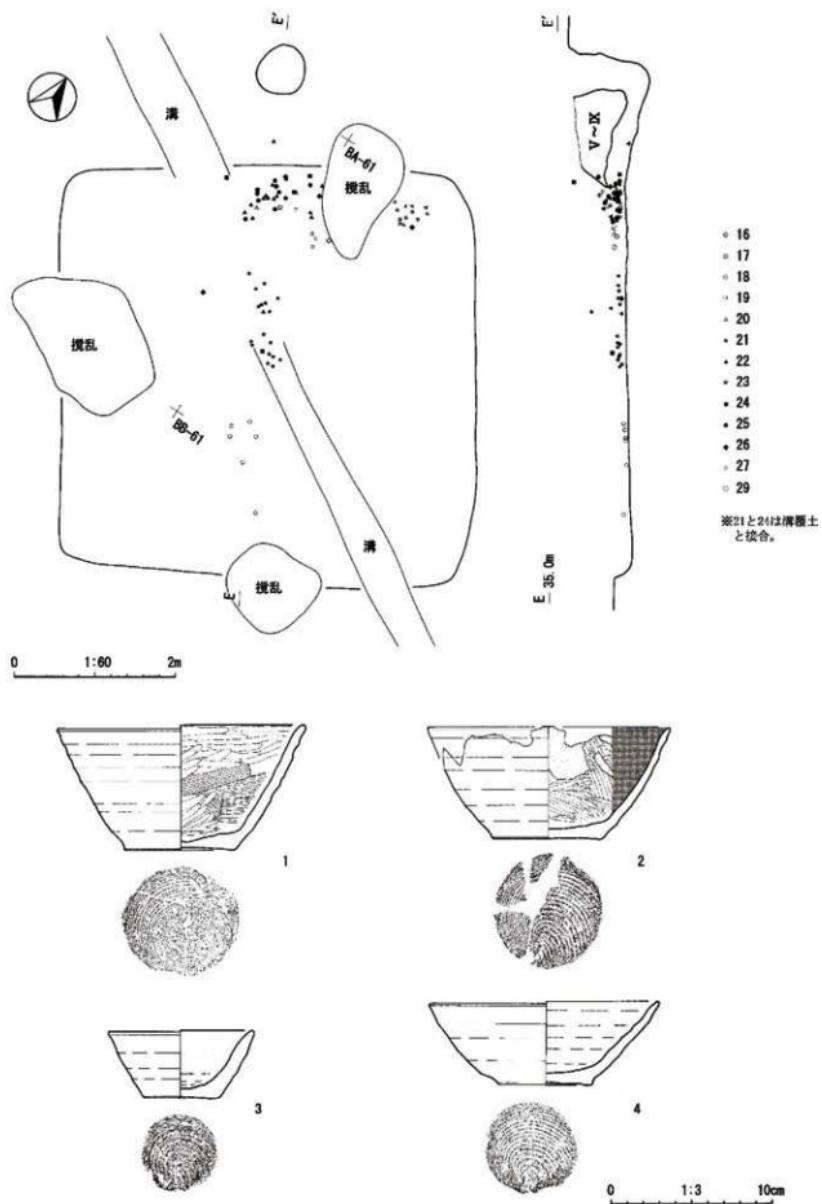


図45 第42号住居跡③

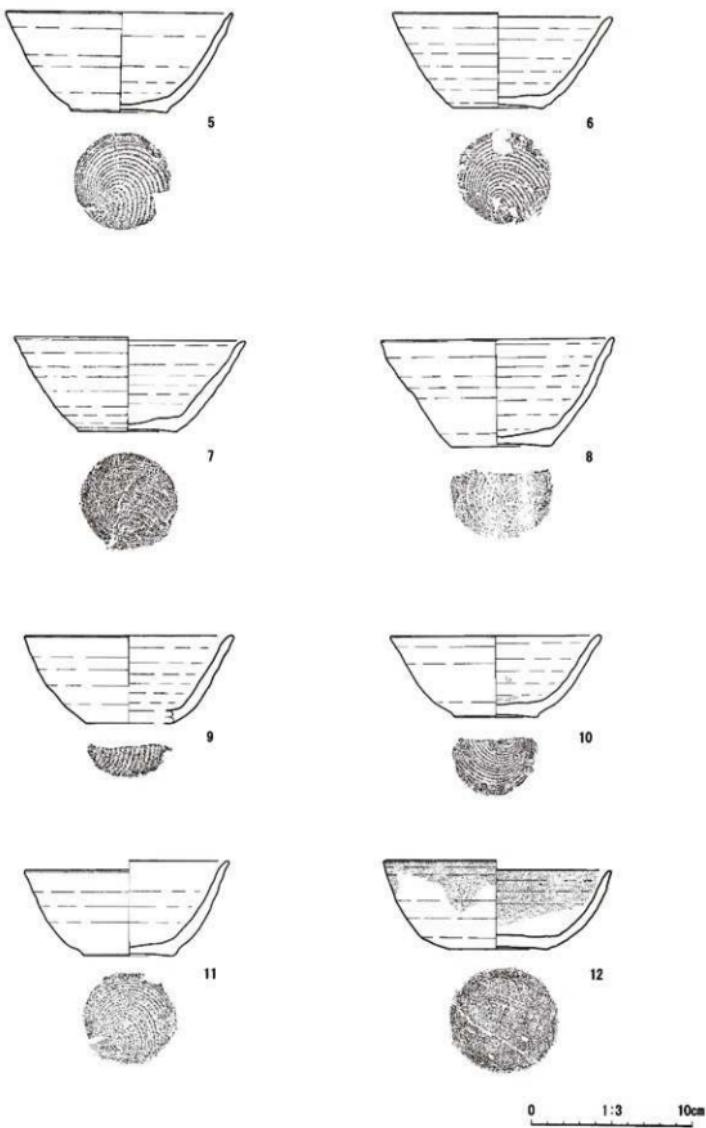


図46 第42号住居跡④

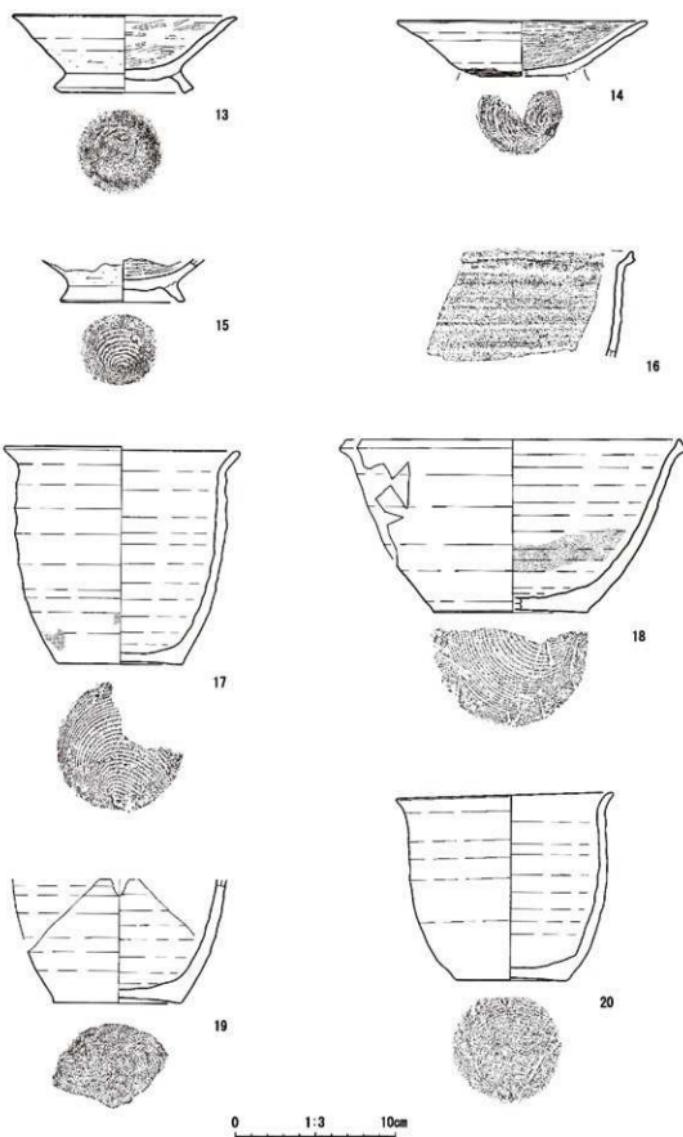
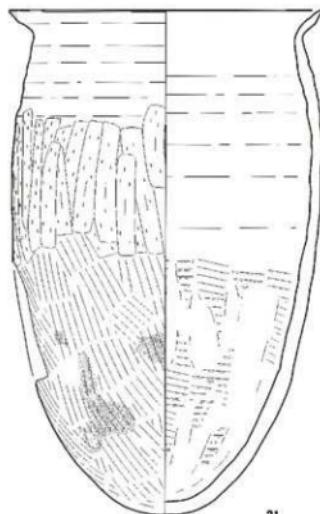


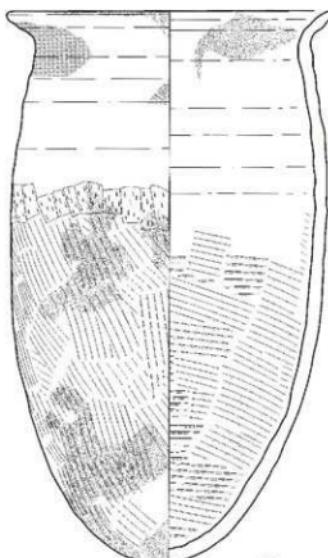
图47 第42号住居跡⑤



21



22



23

0 1:3 10cm

図48 第42号住居跡⑥

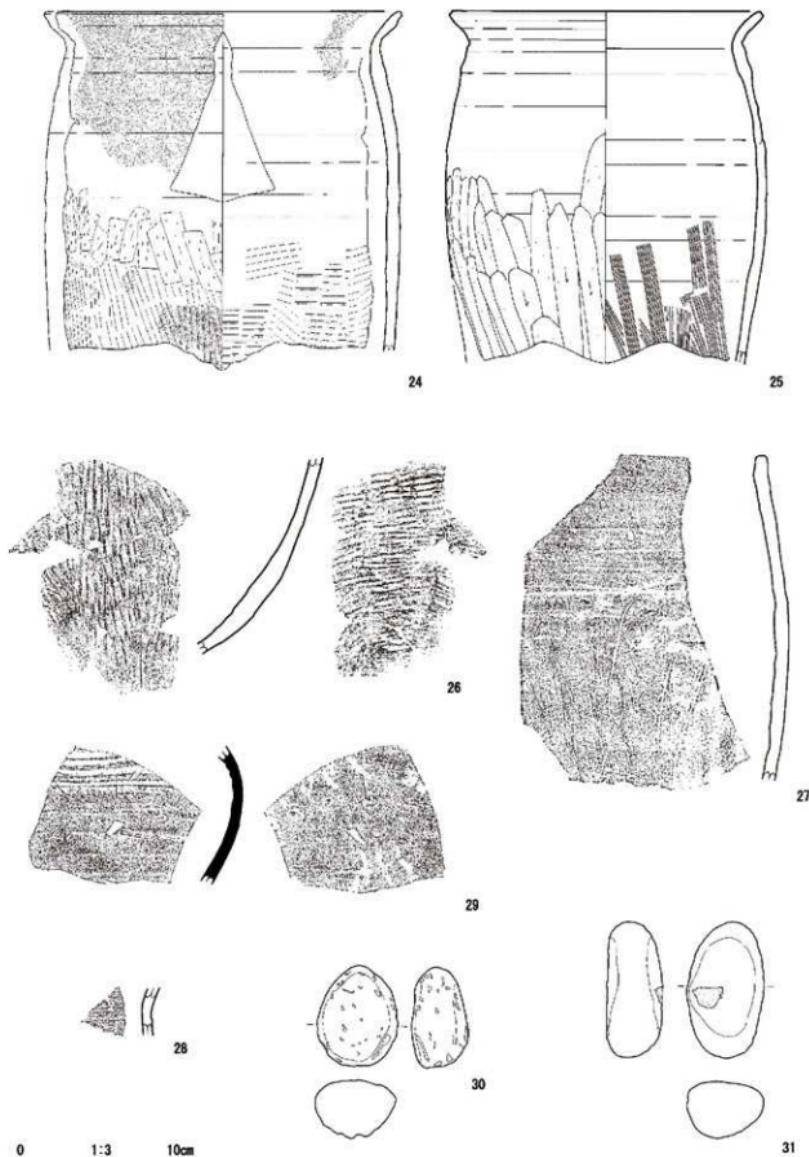
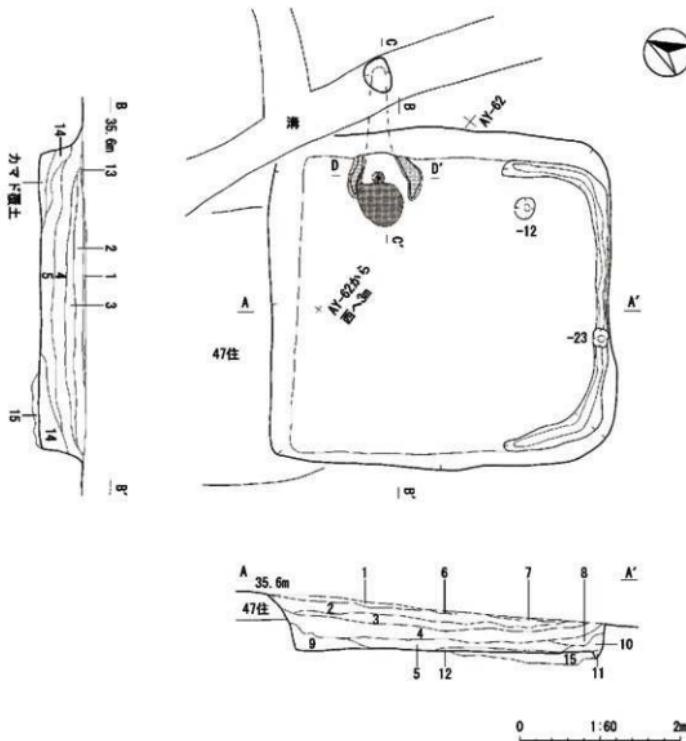


图49 第42号住居跡⑦



第43号住居跡	
1層	10782/1 黄褐色土
2層	10782/2 黄褐色土
3層	10782/3 黄褐色土
4層	10782/3 黄褐色土
5層	10782/1 黑色土
6層	10782/1 黑色土
7層	10782/2 黄褐色土
8層	10782/2 黄褐色土
9層	10782/1 黑色土
10層	10782/1 黑色土
11層	10782/2 黄褐色土
12層	10782/2 黄褐色土
13層	10782/3 黄褐色土
14層	10782/1 黑色土
15層	10782/4 にかい黄褐色土
16層	10782/2 黄褐色土
17層	10782/4 黄褐色土
18層	10782/2 黄褐色土
19層	10782/3 にかい黄褐色土 (堆積)
20層	STB4/9 赤褐色土

土壤描述 (continued from previous page):

- 10782/4 黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 5%, 10782/4 黄褐色土 2% 混入
黄褐色土 ($\phi 0.1\text{mm}$) 7%, $\phi 1\text{mm}$ 5% 混入
- 10782/2 黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 3%, 黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 3% 混入
- 10782/3 黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 5%, 10782/6 赤褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 2%, 硫化物 1% 混入
- 10782/1 黑色土 ($\phi 1\text{mm}$) 5% 混入
黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 5% 混入
- 10782/2 黄褐色土 黑褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 5% 混入
黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 20%, 10782/3 黄褐色土 15% 混入
- 10782/1 黑色土 黑褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 20% 混入
黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 20% 混入
- 10782/2 黄褐色土 10% 混入
黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 20% 混入
- 10782/2 黄褐色土 黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 3%, 黄褐色土 3% 混入
- 10782/4 黄褐色土 黄褐色土 10% STB5/9 黄褐色土 5% 混入
硫化物 1% 混入
- 10782/2 黄褐色土 黄褐色土 ($\phi 1\text{mm}$) 5% 混入
硫化物 1% 混入

図50 第43号住居跡①

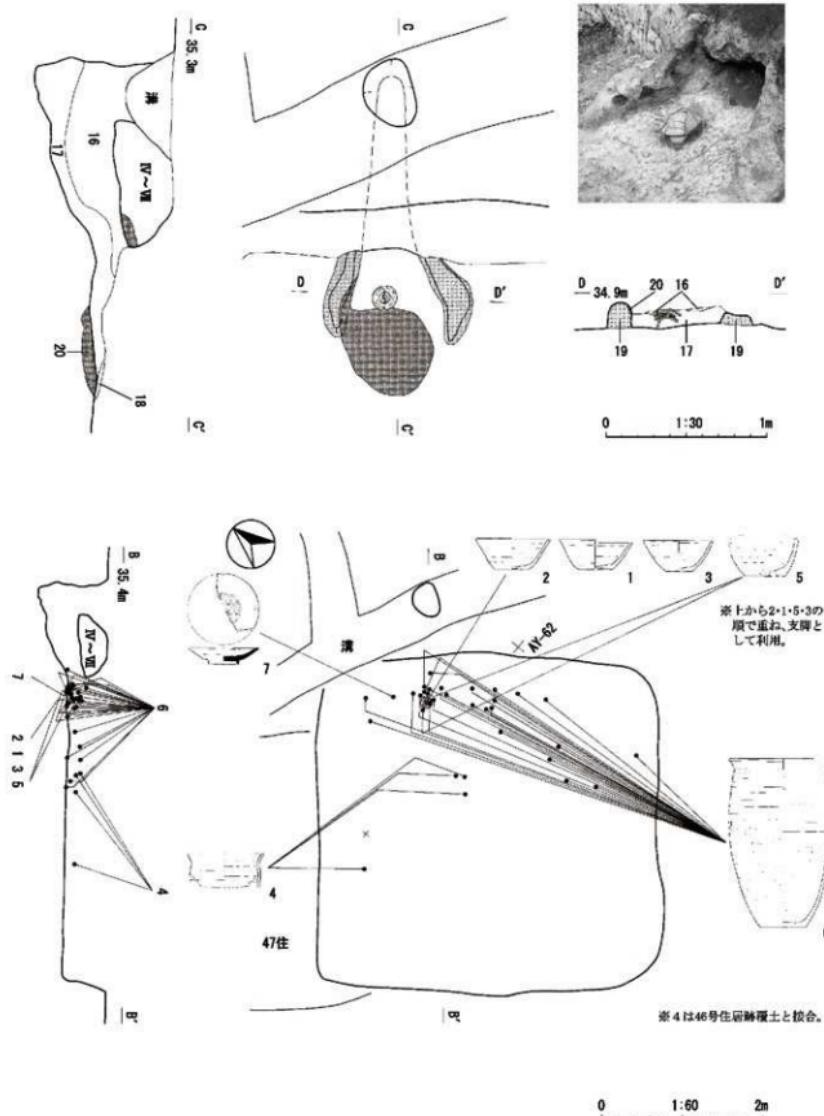


図51 第43号住居跡②

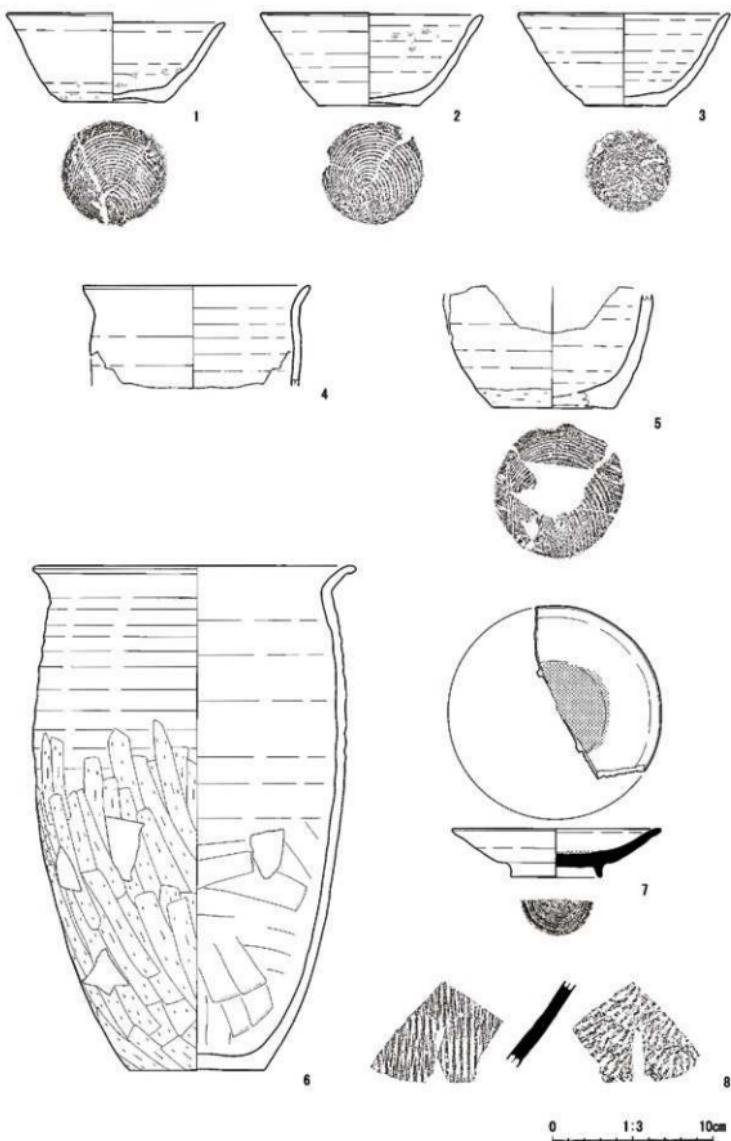


図52 第43号住居跡③

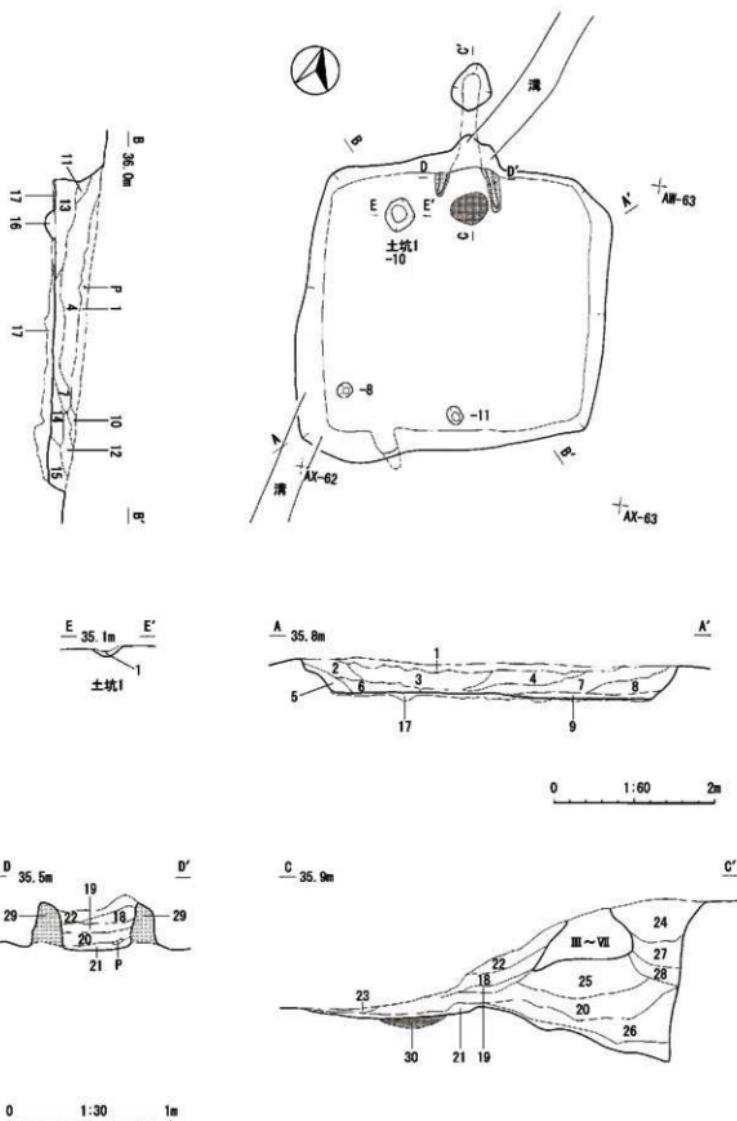


图53 第44号住居跡①

第44号住居跡

1番	19TEL.7/1	黒色土	10TEL/6褐色土+(φ1~2mm)3%, 7o s1%混入
2番	19TEL.7/1	黒色土	10TEL/6褐色土10%, 10TEL/6褐色土(φ1mm)10%混入
3番	19TEL.2/1	黒色土	10TEL/6黄褐色土20%混入
4番	19TEL.7/1	黒褐色土	10TEL/6褐色土+(φ1~2mm)7%, 10TEL/6褐色土(φ1mm)5%混入
5番	19TEL.2/1	黒褐色土	10TEL/6褐色土+(φ1~2mm)5%混入
6番	19TEL.2/1	黒色土	10TEL/6(0.8mm)黄褐色土5%, 10TEL/6褐色土2%混入
7番	19TEL.7/1	黒色土	10TEL/6褐色土(φ1mm)10%混入
8番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/6褐色土7%, 10TEL/6黄褐色土(φ1mm)5%混入
9番	19TEL.2/4	黒褐色土	10TEL/6(0.8mm)黄褐色土10%混入
10番	19TEL.7/1	黒色土	10TEL/6褐色土12%混入
11番	19TEL.7/1	黒色土	10TEL/6(0.8mm)褐色土+(φ1~2mm)12%, 淬化土1%混入
12番	19TEL.7/1	黒色土	10TEL/6褐色土15%, 10TEL/6褐色土2%混入
13番	19TEL.2/5	黒褐色土	10TEL/6褐色土9%, 10TEL/6褐色土10%混入
14番	19TEL.7/1	黒褐色土	10TEL/6褐色土10%, 10TEL/6褐色土7%混入
15番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/6褐色土10%, 7, 10TEL/4褐色土加8%, 10TEL/6褐色土+(φ1~4mm)2%混入
16番	19TEL.2/3	黒褐色土	10TEL/6褐色土10%混入
17番	19TEL.2/5	黒褐色土	10TEL/2褐色土15%, 10TEL/6褐色土10%混入
18番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/2褐色土10%混入(鉄鉢)
19番	19TEL.2/3	黒褐色土	10TEL/2褐色土12%, 10TEL/6褐色土10%混入
20番	19TEL.2/4	黒褐色土	10TEL/6褐色土12%, 10TEL/6黄褐色土間入
21番	19TEL.2/4	黒褐色土	10TEL/6褐色土12%, 10TEL/6(0.8mm)褐色土7%混入
22番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/6褐色土10%混入
23番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/6褐色土10%混入
24番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/6褐色土10%混入
25番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/6(0.8mm)褐色土10%混入
26番	19TEL.2/3	黒褐色土	7, 10TEL/6褐色土(φ1~5mm)少量混入, 10TEL/2(0.8mm)褐色土(φ1~20mm)少量混入
27番	19TEL.3/1	にじみ黒褐色土	鉄、中柱、成層土層(φ1~20mm)少量混入
28番	19TEL.2/2	黒褐色土	10TEL/6褐色土+20%混入
29番	19TEL.2/2	にじみ黒褐色土	10TEL/6褐色土+20%混入
30番	9TEL.3/3	半褐色粘土	(大穴)

第44号住居跡 1号土竪坑

1番 19TEL.7/1 黒色土

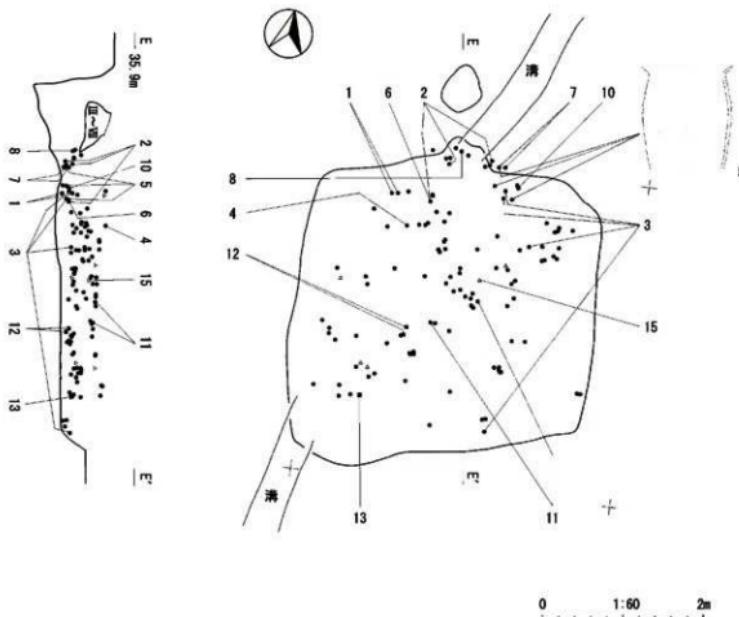


図54 第44号住居跡②

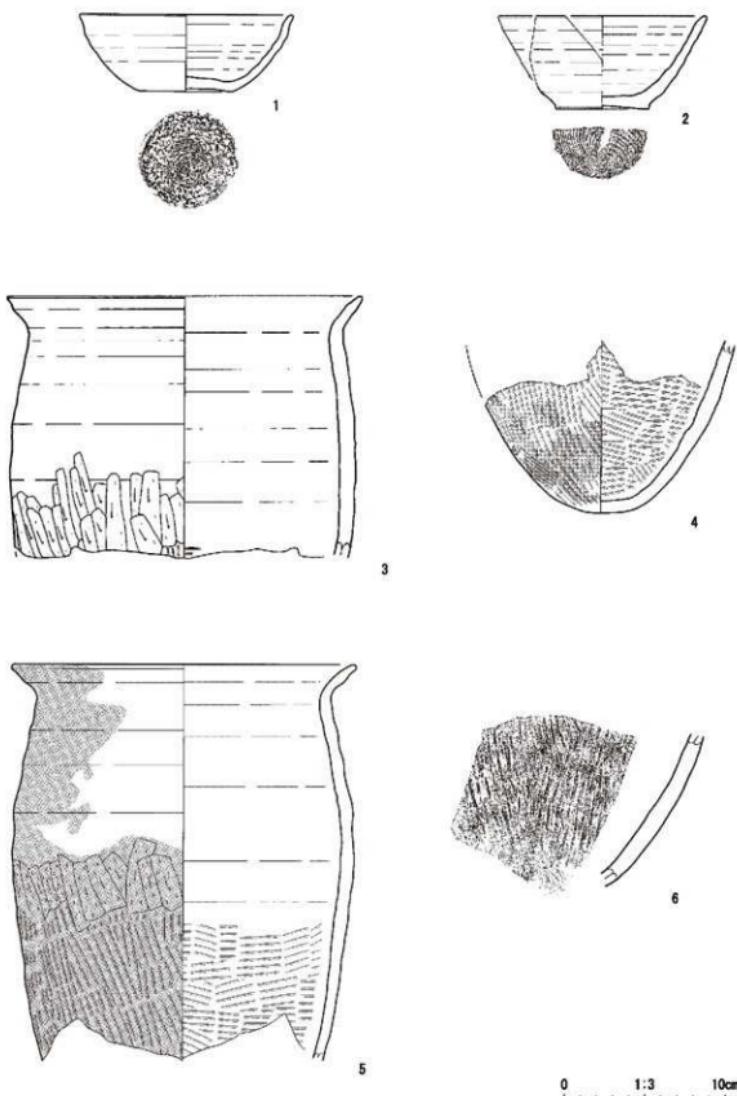


图55 第44号住居跡③

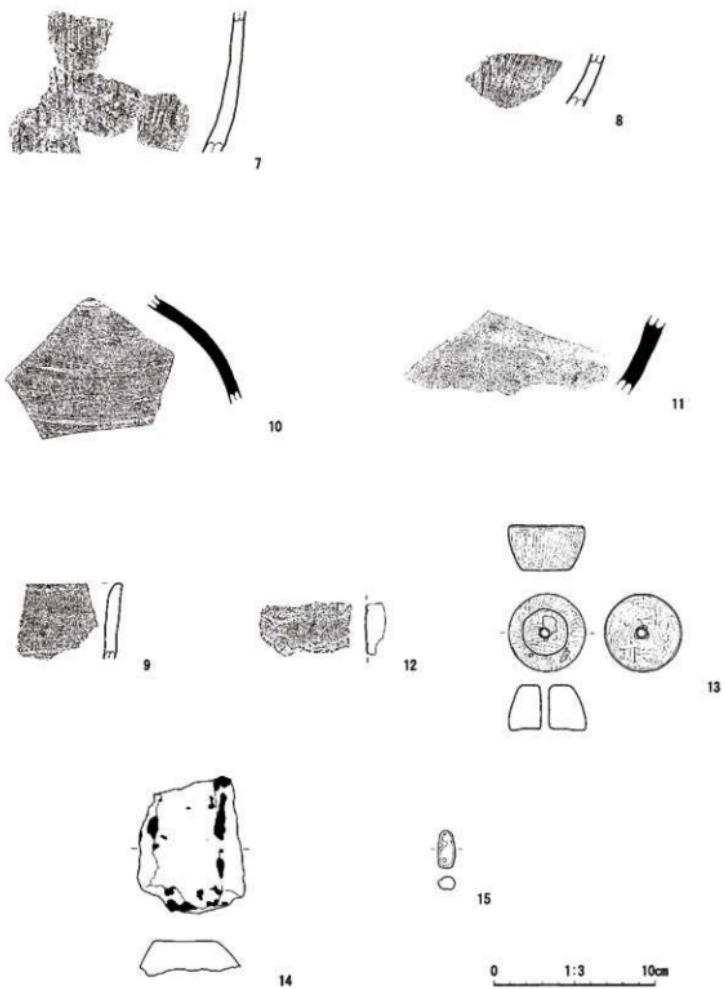
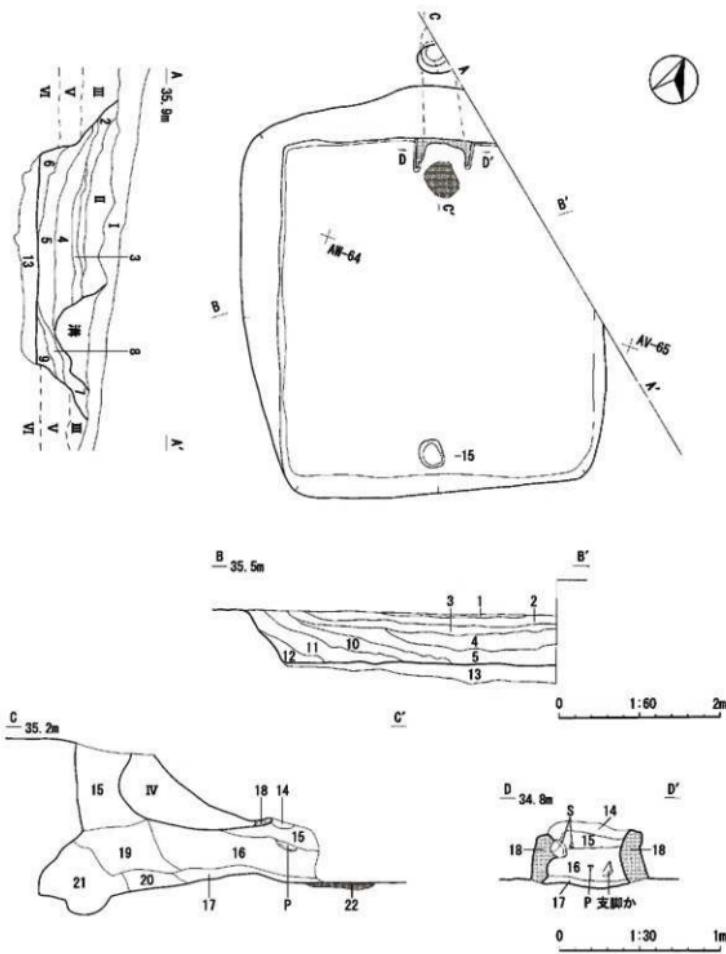


図56 第44号住居跡④



第45号住居基

1.黑	ETRL 7/1	黑色土	1978/10/黑褐色土(±1cm)3%, -7cm深土层
2.黑	ETRL 7/1	黑色土	1978/10/黑褐色土(±1cm)3%, -7cm深土层
3.黑	ETRL 7/1	黑色土	1978/10/黑褐色土(±1cm)3%, -7cm深土层
4.黑	ETRL 7/1	黑色土	1978/10/黑褐色土(±1cm)3%, -7cm深土层
5.黑	ETRL 7/1	黑色土	1978/10/黑褐色土(±1cm)3%, -7cm深土层
6.黑	ETRL 7/1	黑色土	1978/10/黑褐色土(±1cm)3%, -7cm深土层
7.褐	ETRL 2/2	暗褐色土	1978/12/暗褐色土(±1cm)2%, -10cm深土层
8.褐	ETRL 2/2	暗褐色土	1978/12/暗褐色土(±1cm)2%, -10cm深土层
9.褐	ETRL 2/2	暗褐色土	1978/12/暗褐色土(±1cm)2%, -10cm深土层
10.褐	ETRL 2/2	暗褐色土	1978/12/暗褐色土(±1cm)2%, -10cm深土层
11.褐	ETRL 2/2	褐色土	1978/12/褐色土(±1cm)2%, -10cm深土层
12.褐	ETRL 2/2	褐色土	1978/12/褐色土(±1cm)2%, -10cm深土层
13.褐	ETRL 2/2	褐色土	1978/12/褐色土(±1cm)2%, -10cm深土层
14.			

14類	10YR2/1	黑褐色土	10%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
15類	10YR2/2	黑褐色土	10%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
16類	10YR2/2	黑褐色土	10%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
17類	10YR3/3	暗褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
	10YR3/3	暗褐色土	(無機)
18類	10YR2/1	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
19類	10YR2/1	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
20類	10YR2/2	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
21類	10YR2/2	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
22類	10YR2/2	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
23類	10YR2/2	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
24類	10YR2/2	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
25類	10YR2/2	黑褐色土	5%~45%に亘る黃褐色土と20%、 灰褐色土と15%。
	10YR2/2	黑褐色土	(水田部)

図57 第45号住居跡①

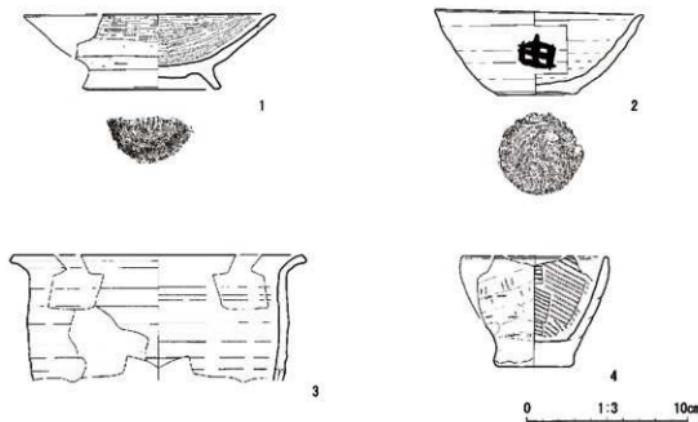
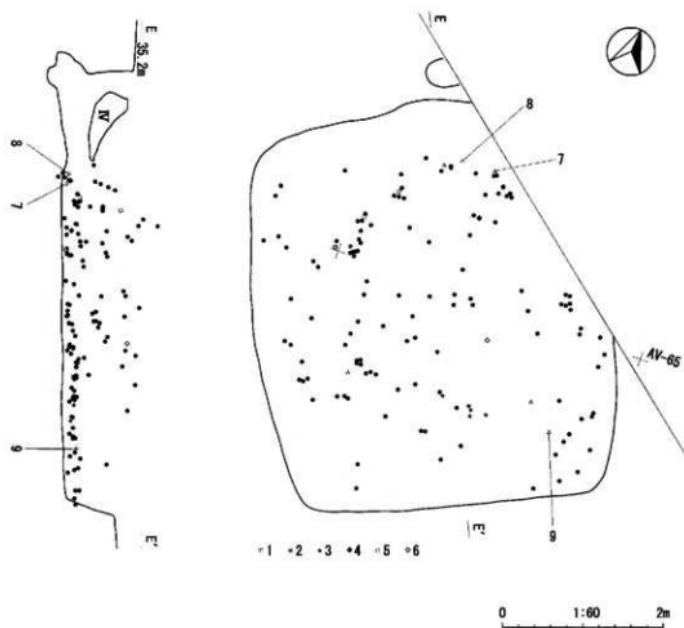


図58 第45号住居跡②

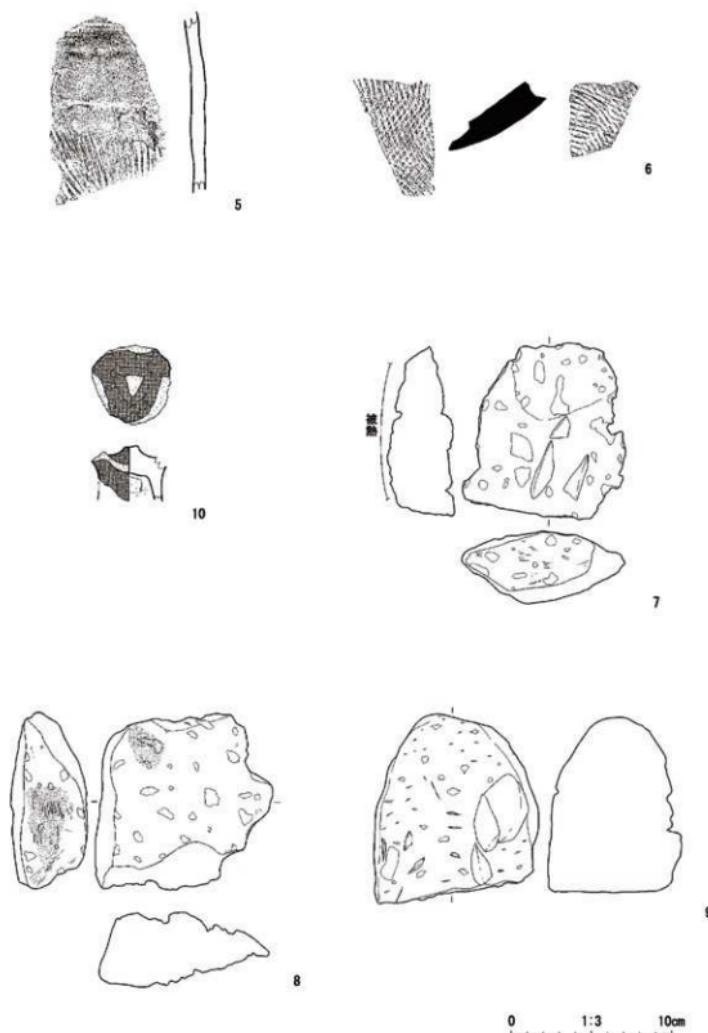
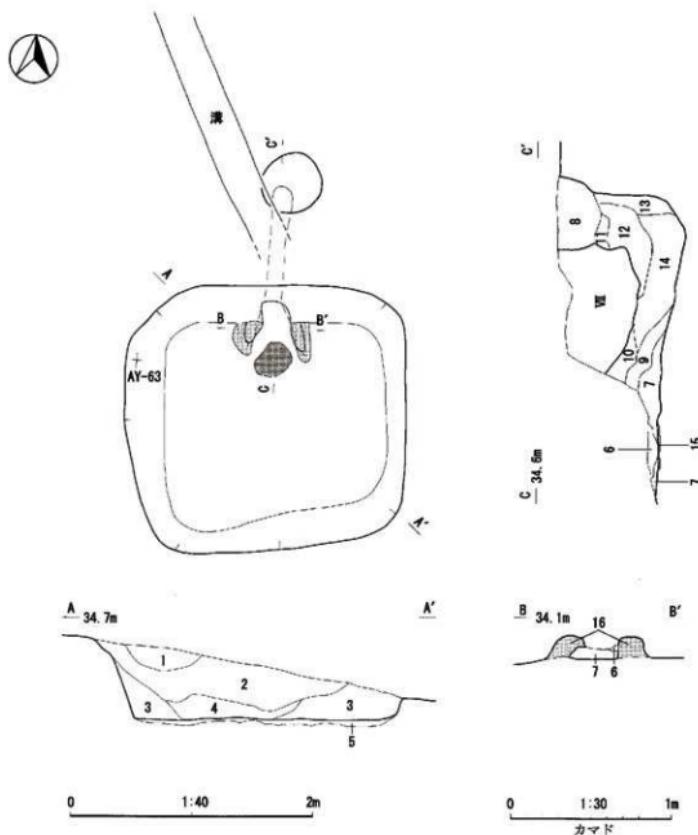
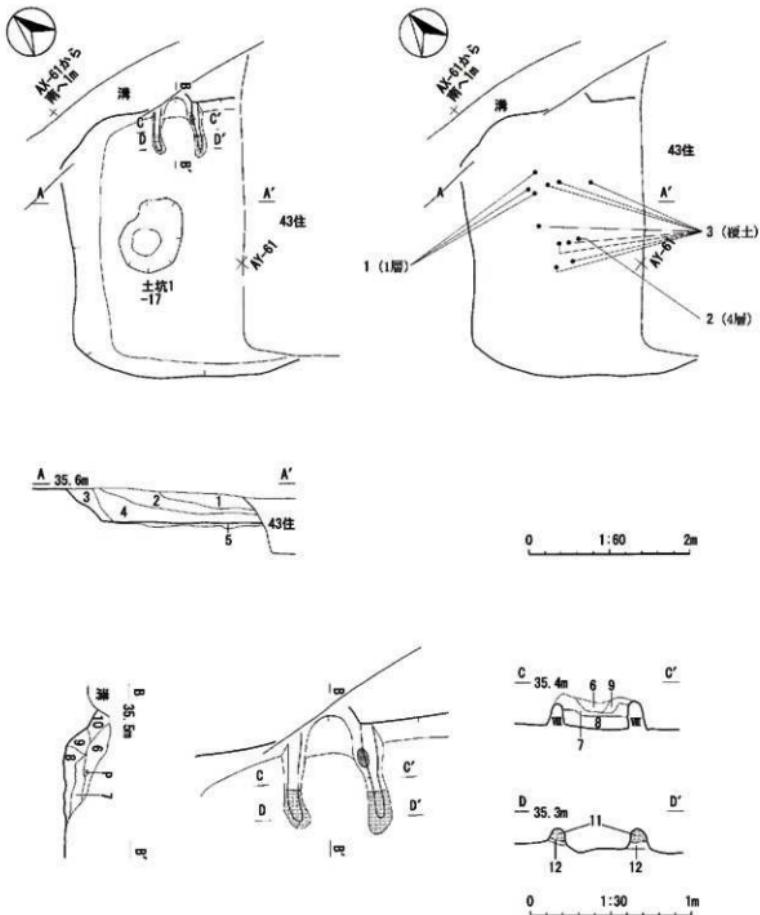


图59 第45号住居跡③



第46号住居跡	
1層	10TK3/9 黄褐色土
2層	10TK3/1 黄褐色土
3層	10TK3/4 棕褐色土
4層	10TK3/2 黑褐色土
5層	10TK3/1 黄褐色粘质土
6層	10TK2/1 黄褐色土
7層	10TK2/3 黄褐色土
8層	10TK2/2 黄褐色土
9層	10TK2/6 黄褐色土
10層	10TK2/3 黄褐色土
11層	10TK2/3 黄褐色土
12層	10TK2/3 黄褐色土
13層	10TK2/2 黄褐色土
14層	10TK2/3 黑褐色土
15層	2.0TK4/6 褐褐色土
16層	10TK4/2 黄褐色粘质土
	黄褐色土($\phi 1\sim 30mm$)中盐,氯化物微量混入 黄褐色土($\phi 1\sim 20mm$), $15-6$ ($\phi 1\sim 5mm$)以化物微量混入 黄褐色土($\phi 1\sim 20mm$),黄褐色土($\phi 1\sim 50mm$)氯化物微量混入 黄褐色土($\phi 1\sim 20mm$),浮石($\phi 1\sim 5mm$)微量混入 黄褐色土($\phi 1\sim 20mm$) 黄褐色土($\phi 1\sim 5mm$)少量混入 白褐色土,沙,漂砾,漂砾 白褐色土,漂砾,漂砾 10TK3/1 黄褐色粘质土层 10TK3/1 黄褐色土层, 10TK3/6 黄褐色土($\phi 1\sim 40mm$)少量混入 10TK3/2/3 黄褐色土粘土层 10TK3/1 黄褐色土($\phi 1\sim 5mm$)层 10TK3/6 黄褐色土($\phi 1\sim 5mm$)层 10TK3/6 黄褐色土($\phi 1\sim 5mm$)层, 10TK3/3 黄褐色粘土层, 10TK3/8 黄褐色漂石层 (火灰层) (海积)

図60 第46号住居跡

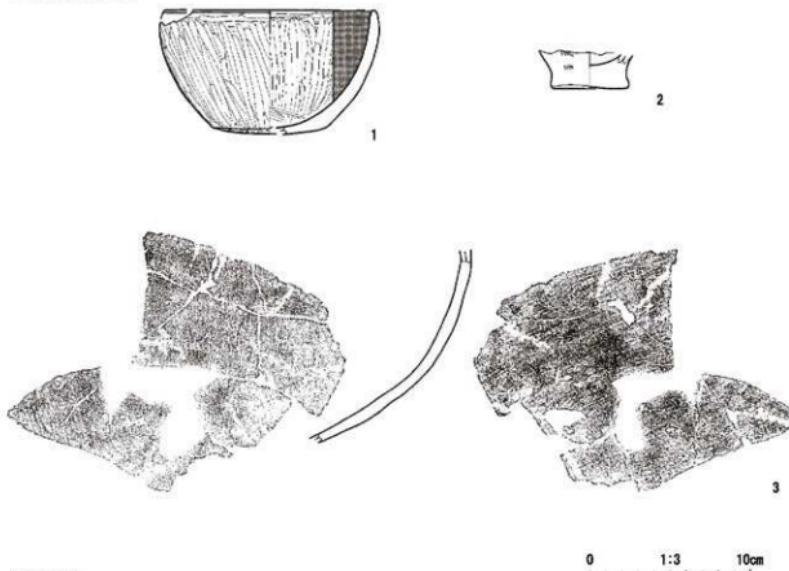


第47号住居跡

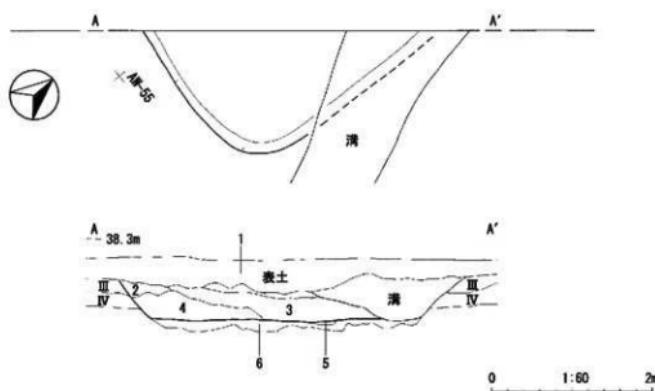
- | | | | |
|-----|-----------|------|--|
| 1層 | 10982/1 | 褐色土 | 黄褐色土(±1~2mm)10%, 10982/3 黑褐色土3%混入 |
| 2層 | 10981.7/1 | 黑色土 | 深褐色土(±1~2mm)10%, 10982/3 黑褐色土3%混入 |
| 3層 | 10982/2 | 黑褐色土 | 10982/3 墓褐色土20%, 黑褐色土±10%混入 |
| 4層 | 10981.7/1 | 黑色土 | 黄褐色土(±1~3mm)30%混入 |
| 5層 | 10985/6 | 黄褐色土 | 10982/3 黑褐色土(±10~50mm)30%混入 |
| 6層 | 10981.7/1 | 黑色土 | 10982/2 黑褐色土(±1~20mm)中层混入 |
| 7層 | 10982/4 | 暗褐色土 | 黄褐色土(±1~2mm)10%, 10984/6 黑褐色土(±1~20mm)中层混入 |
| 8層 | 10982/2 | 黑褐色土 | 10984/6 黑褐色土(±1~20mm)中层混入 |
| 9層 | 10984/4 | 褐色土 | 10984/6 黑褐色土(±1~20mm)中层混入 |
| 10層 | 10986/8 | 暗褐色土 | 10981.7/1 黑褐色土中层混入 |
| 11層 | 10984/2 | 灰褐色土 | (粘质先端) ±50 |
| 12層 | 10985/4 | 褐色土 | 10985/6 黄褐色土(±1~10mm)6%混入(粘质先端下部) |

図61 第47号住居跡①

47号住居跡出土遺物



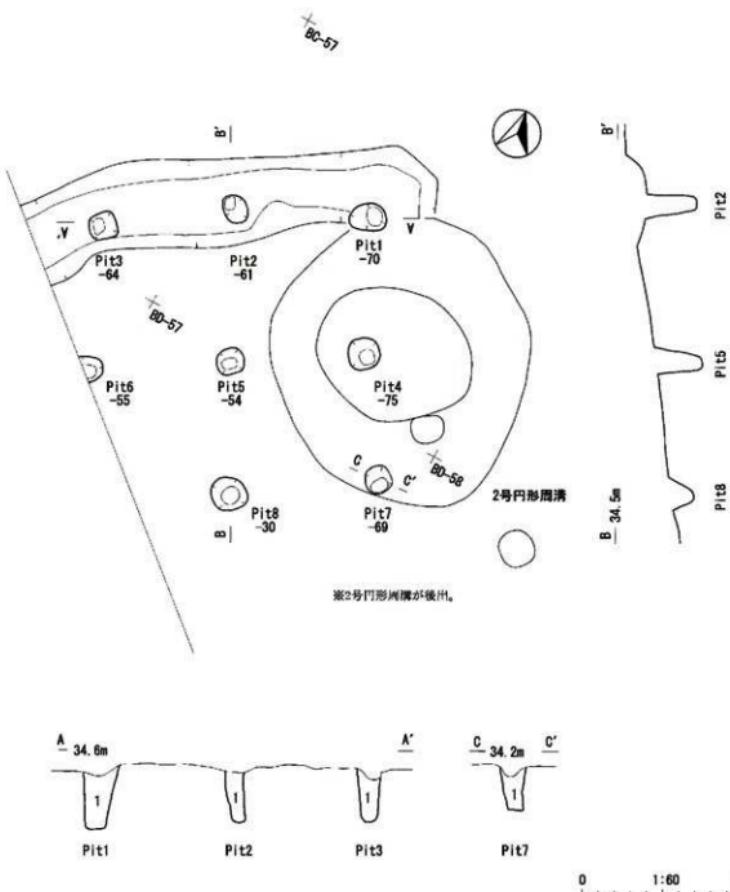
48号住居跡



第48号住居跡

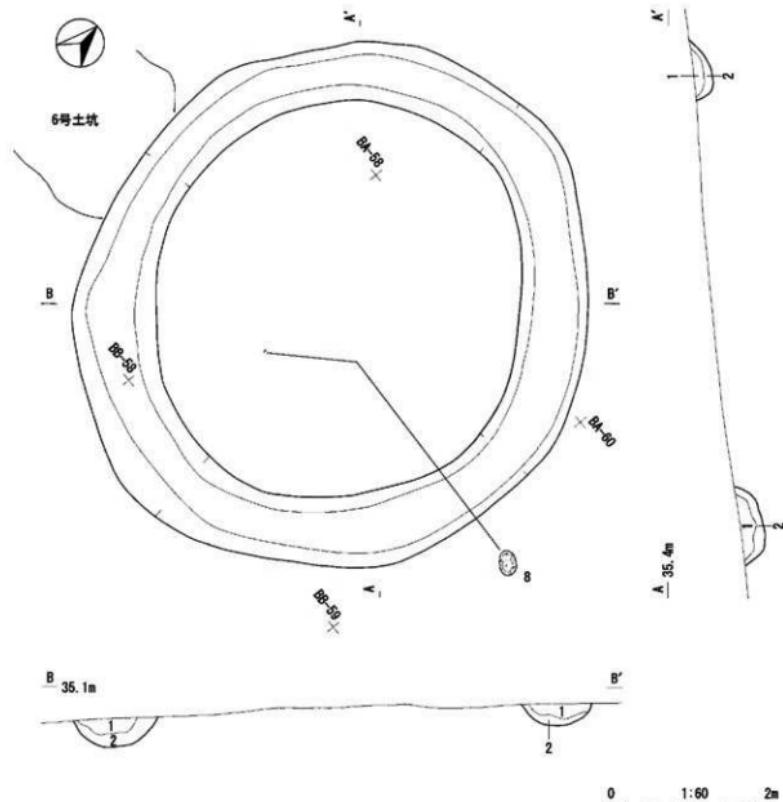
1層	10YR2/3黑褐色土	10YR2/3黑褐色土+10% 10Y5/3黃褐色土(φ1~2mm)3%混入。
2層	10Y6/1 黑色土	10Y6/7/6黃褐色土(φ1mm)1%混入。
3層	10Y6/1 黑色土	10Y6/4時褐色土(φ1~3mm)20%, 10YR3/3時褐色土10%混入。
4層	10YR2/1 黑色土	10Y6/6/6時褐色土 1:(φ1~2mm)40%, 10YR2/2黑褐色土「10%、炭化物1%混入」
5層	10Y6/4 細褐色土	10Y6/6/6時褐色土40%, 10YR7/6黃褐色土(φ1~3mm)10%、炭化物1%混入
6層	10YR2/2 黑褐色土	10YR2/2時褐色土40%, 10YR7/6黃褐色土(φ1~3mm)10%、炭化物1%混入

図62 第47号住居跡②・第48号住居跡



第8号掘立柱建物跡	
Pit 1 1層	10YRL 7/7 黑色土
Pit 2 1層	10YRL 7/7 黑色土
Pit 3 1層	10YRL 7/1 黑色土
Pit 7 1層	10YRL 2/3 黄褐色土
	10YR5/8黄褐色土(φ1~30mm)20%混入
	10YR5/8黄褐色土(φ1~30mm)20%混入
	10YR5/8黄褐色土(φ1~30mm)20%混入
	黄褐色土混入

図63 第8号掘立柱建物跡



第1号円形周溝
1層 10YR2/3 黄褐色土 黄褐色浮石粒($\phi 1\sim5mm$)、炭化物微量混入
2層 10YR2/4 黄褐色土 黄褐色浮石粒($\phi 1\sim5mm$)、炭化物微量混入

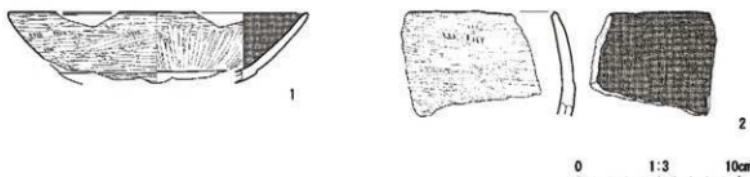


図64 第1号円形周溝①

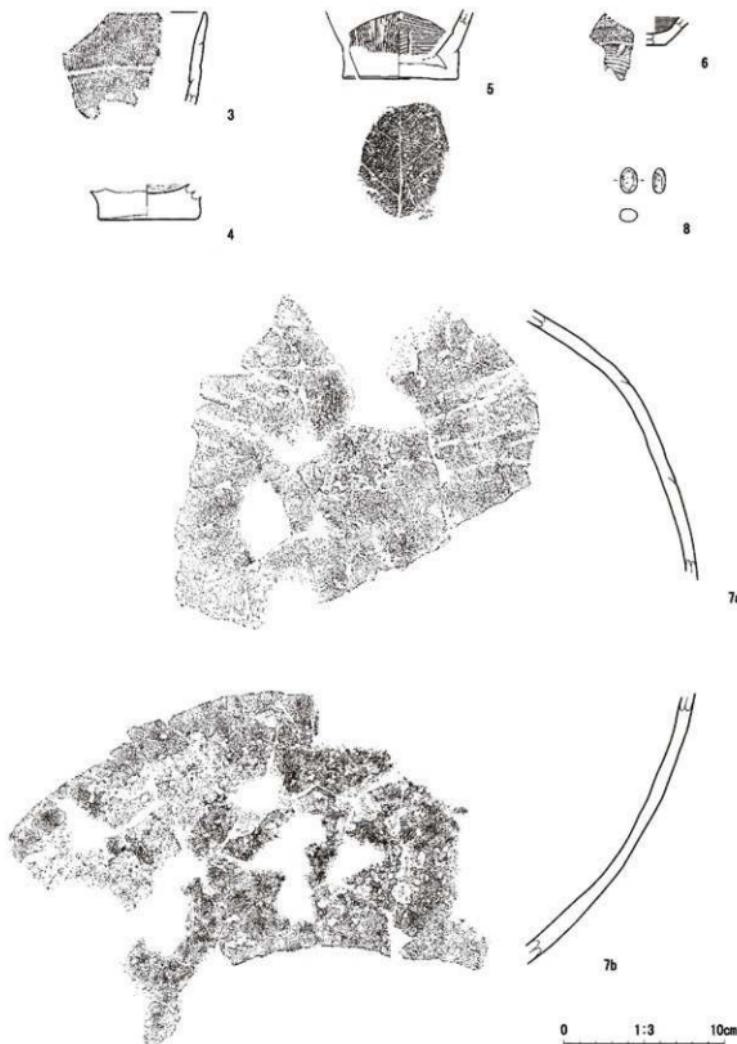
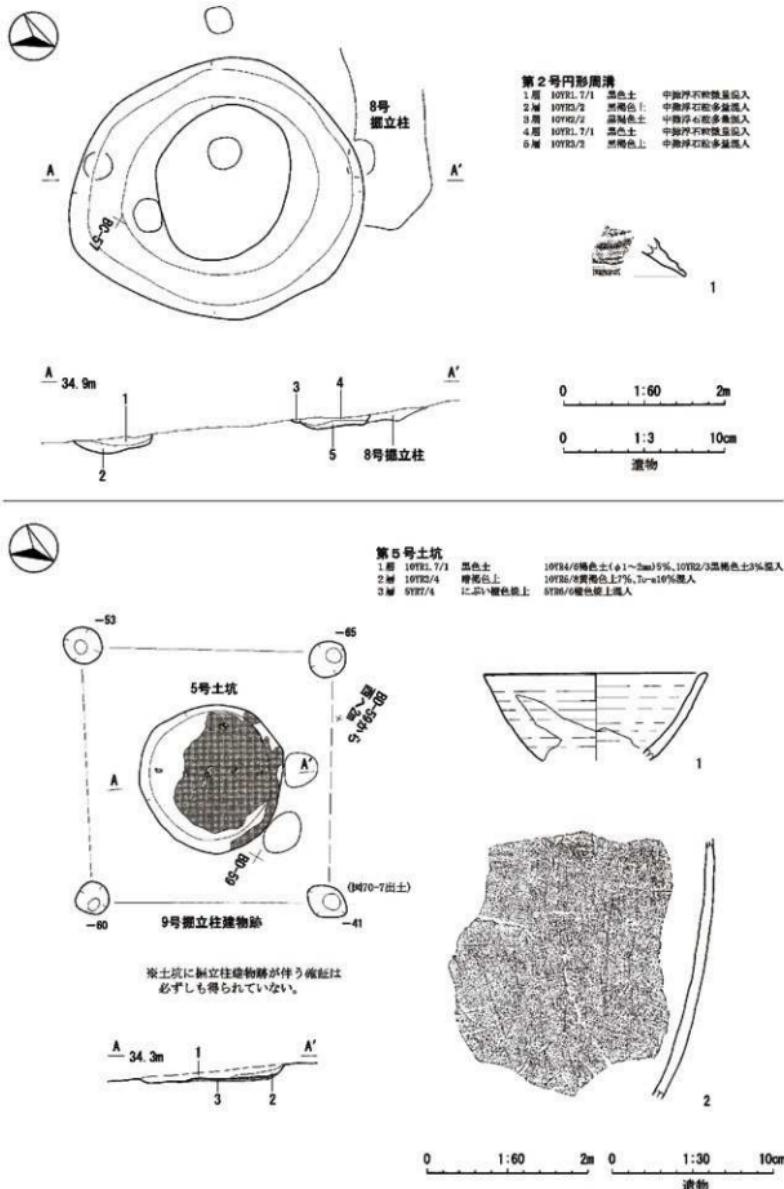


図65 第1号円形周溝②



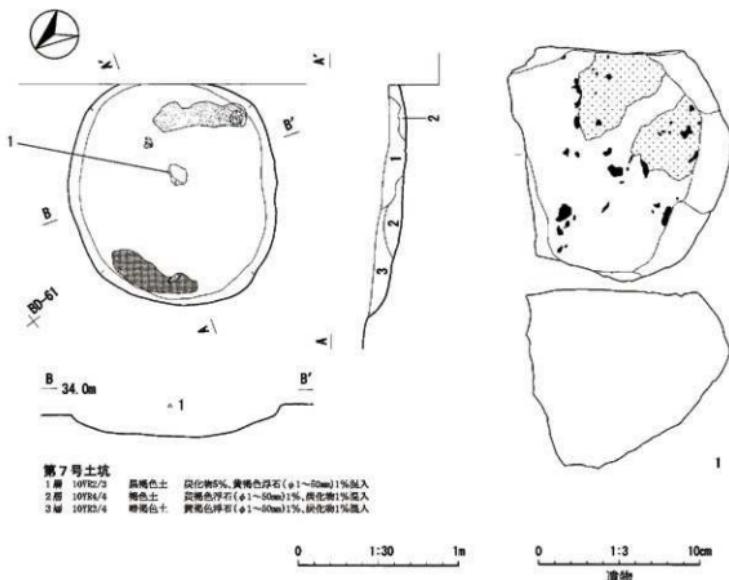


図67 第7号土坑

第7号土坑（図67）

[概要] 金床石らしき台石が出土した遺構。しかし、他に本遺構の年代を具体的に示す遺物を欠くため、詳細な時期は不明である。

[構造] 平面の基本形は円形である。底面はV層まで掘り込まれている。

[堆積土] 黒色土を主体とする自然堆積を経て埋没した模様である。1層には炭化物が散乱する。特筆すべき降下火山灰は見当たらない。

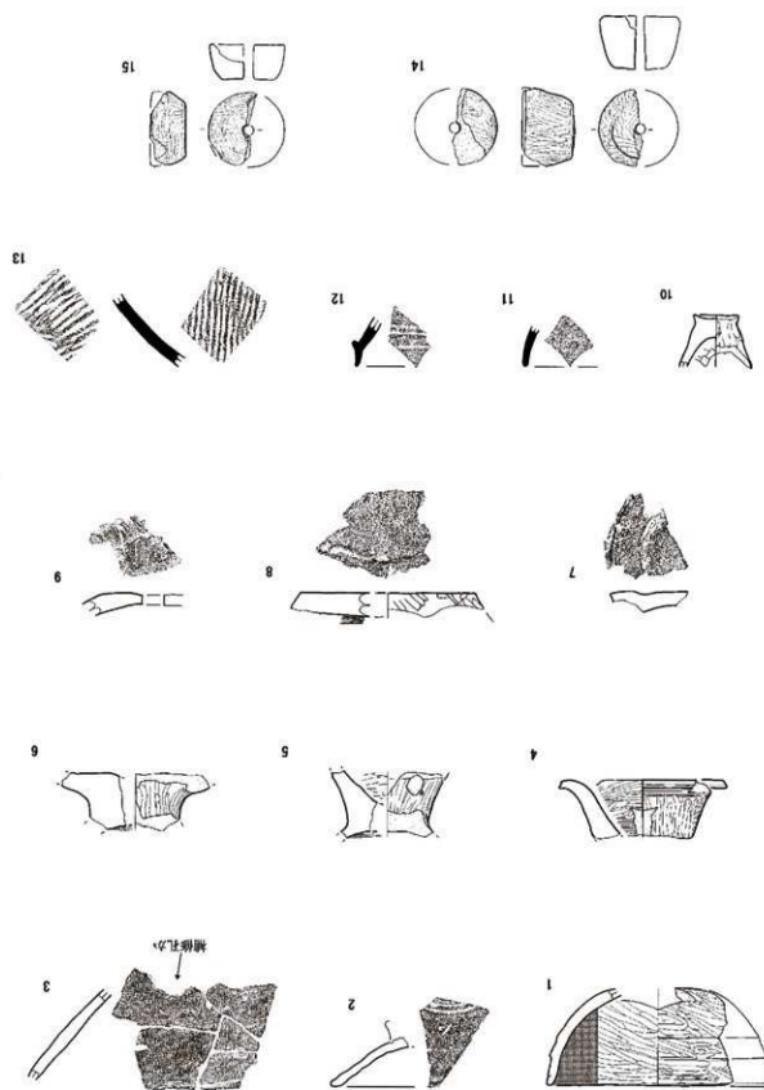
[遺物] 遺構中央部の床面よりやや高い位置より、金床石らしき台石が1点出土した。表面には敲打による剥離と鉄鏽の付着が認められるのに対し、背面は形状が整えられ、丸みを帯びている。

e. 遺構外出土遺物

7~9世紀代の遺物を適宜抽出した（図68~70）。古代以後の溝・畝状遺構・Pitから出土したものも、区別した形でこちらに含めている。個々の特徴は観察表に譲るが、多孔式の瓶（68~9）、鉄鏽の付着した砥石（69~22）は、遺構内でも数少ない存在である。

圖68 遷都外出土遺物(古代)①

0 1:3 10cm



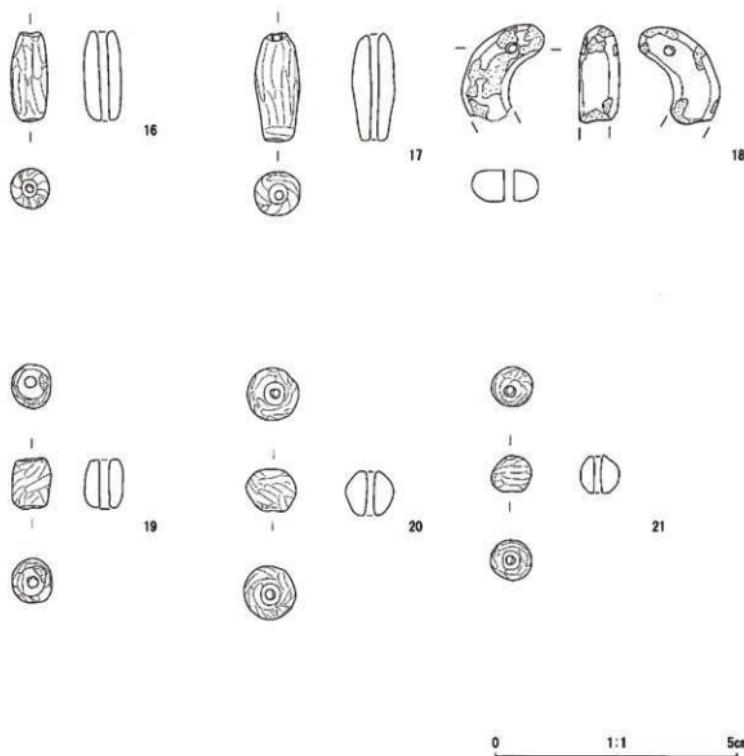


図69 造構外出土遺物(古代)②

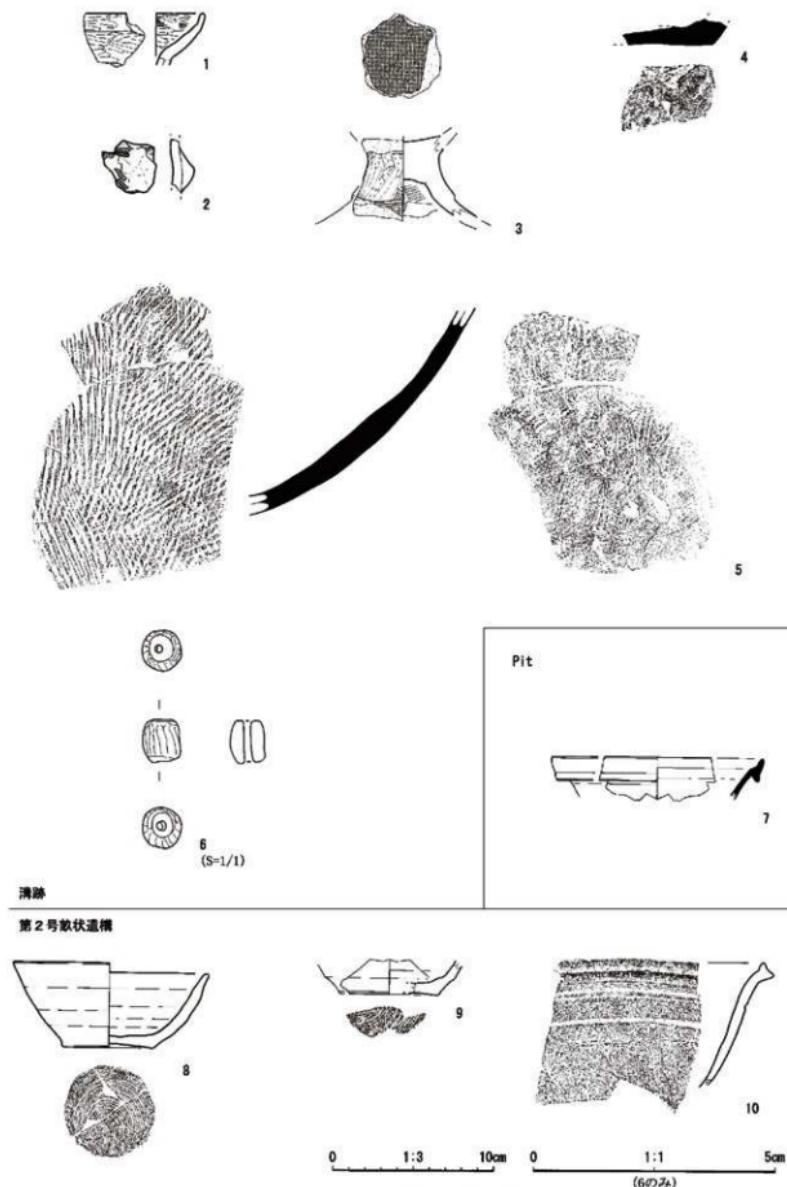


図70 溝跡・Pit・第2号鉢状遺構出土遺物（古代）

第3節 古代以後および時期不明

9世紀後半以後、本遺跡における人的な活動痕跡は極端に不明瞭となる。ただ、10世紀前半に降下したといわれる2つの火山灰、すなわち十和田aと白頭山の両火山灰が降下した後、いつの時点か定かではないにせよ、これら火山灰と古代の遺構の上部より、溝・畝状遺構・硬化面・掘立柱建物跡・Pitなどが設けられている。加えて、時期不明のPit・土坑・焼土遺構、そして遺構外出土遺物なども僅かながら存在している。なお、本節に関わる部分で今回実施した理化学的分析は、畝状遺構の土壤分析のみである。

a. 掘立柱建物跡

1棟確認。9世紀中葉～後葉以降に構築された1×1間の小規模な建物跡であるが、具体的時期は不明。今回の調査で確認した2棟のうち、1棟が古代の8号であり、もう1棟が以下の9号となる。

第9号掘立柱建物跡（図66・70・71）

〔概要〕 1×1間の建物跡。9世紀中葉～後葉以降に属することは確かだが、5号土坑との関連性からすると、9世紀中葉～後葉の可能性もある。

〔重複〕 9世紀中葉～後葉の41号住居跡を破壊して構築されている。また、同じ9世紀中葉～後葉の5号住居跡を内包する可能がある。

〔構造〕 1×1間の方形の建物跡。底面は、概ね覆層まで掘り込まれている。

〔堆積土〕 各Pitの覆土は黒色土を主体とする。周辺にも覆土の色調が類似したPitが幾つか散在しているが、これらとの関連性は不明である。

〔遺物〕 明確なものは認められない。

b. Pit

疎らではあるが、調査区の広範囲から検出された（図71）。大多数の掘り込み面は確認できており、確認面も様々である。従って、個々の時期特定は検証できる状況にはない。但し、AV-59に存在する3基は、位置関係からすると古代の32a号あるいは32b号との関連性がうかがえる。同じく、Pitの集まるBE-60～62周辺に散在するものについても、第9号掘立柱建物と関連する可能性がある。

c. 溝 跡

調査区全般において複数確認された。前回の調査・報告分と連続するものもあるため、前回の報告同様、遺構番号は特に付さずに一括して報告する。

溝 跡（図71）

〔概要〕 時期決定に関わる遺物が乏しく、具体的時期は判断できない。しかし、他の遺構との重複関係から、全てが古代の遺構と火山灰堆積層を破壊していることは確かであり、その中には近代以降と推測されるものも存在している。溝同士の重複関係からすると、これら溝の中に前後関係が存在

することも予測されるが、調査工程上、確認作業をほとんど行っていない。なお、調査前から既に窪地として認識していたA地点の溝については、近代以後の地境として機能していた可能性が高い。

〔重複〕 全て古代の遺構と火山灰層とを破壊して構築されている。加えて、A地点では近世以降と推測される畝状遺構も破壊している。掘り上がりの状況から、溝同士の重複も考えられたが、調査工程上、確認面ないし土層の断面観察に基づく前後関係の確認・判定を行う余裕がなかった。従って、全ての溝が同一時期に属すかどうかは、明らかにできない。

〔確認面〕 古代の住居跡を破壊している場合、その多くは住居跡の覆土上層から掘り込まれた状態で確認している。よって、ほぼ全ての溝は、古代の豊穴住居跡が埋没し、その窪みがほぼ平坦化した後に形成されたものと考えられる。他方、基本層序との関係については、概ねⅡ～Ⅲ層中で確認されることが多かったが、B地点ではⅡ層上面、つまり表土直下で確認している。さらにA地点では、Ⅱ層を破壊して作ったと想定される畝状遺構を更に破壊しつつ、地表面上では窪みとしても認識可能であった。このことから、少なくともA地点に関しては、溝が窪みとして残るような時代の所産だったと判断され、B地点についてもⅡ層形成以後に作られた比較的新しい時期のものであると考えられる。参考までに、A地点の溝は、丁度、旧下田町瓢字245-21番地と同26番地の地境に合致しているため、この事実と何か関連性があるものと推定される。恐らく、近代以後に土地の境界を示す役割を果たしていたのであろう。

〔規模〕 幅・深さとも場所によって差があったが、最も規模のある35号住居跡付近(A-A')では、開口部幅120cm、底面幅20cm、深さ90cm前後である。地点によって様々だが、底面はV～IX層まで掘り込まれている。

〔堆積土〕 黒色土を主体とする自然堆積により埋没した模様である、古代の火山灰層を破壊している地点では、それら火山灰の二次堆積も確認されている。

〔遺物〕 時期決定の手掛かりとなる遺物は皆無に等しい。断片化した古代の土器が各所で出土した程度であるが、時代的な観点より、これらは古代の遺構外出土遺物の方に掲載した(図70)。ところで、注目すべきは、当初から窪みとして確認していたA地点の溝から出土した断面丸形の針金である。覆土中位より出土したものだが、A地点の溝の年代を考える上で参考になるものと思われる。その特徴からすると、近代以降の産物であろうか。だとすれば、確認面での説明とも合致する。なお、こちらに関しても、やはり時代性を考慮して溝本体と同じ図版に掲載した(図71)。

d. 畝状遺構

2地点において新旧確認した。状況からほぼ同時期のものと思われるが、具体的な時期は不明である。基本土層の堆積状況ならびに他の遺構との重複関係からすると、中・近世頃と推測される。土壤分析結果は、理化学的分析の項を参照のこと。

第1号畝状遺構(図70・72~74)

〔概要〕 十和田a火山灰降下後以後に作られた遺構である。新旧あり、溝の軸がほぼ直交する。双方の具体的な時期は定かではないが、仮に2号畝状遺構と同時期のものとすれば、中・近世以降と推測される。

〔他の遺構との重複〕 時期不明の8号土坑を破壊している。また、近代以降と推測される溝跡（A地点）によって破壊されている。

〔歎状遺構同士の重複〕 東西方向に溝の軸を持つものが古く（図73）、同じく南北方向に溝の軸を持つものが新しい（図72）。参考までに、溝底面の標高は、新旧でほとんど差は無く、時期差が少ないと可能性を指摘し得る。

〔確認面〕 Ⅱ～Ⅲ層であり、底面はⅢ～Ⅴ層となる。

〔堆積土〕 黒色土を主体とする。古代の火山灰層を破壊した地点では、それら火山灰の二次堆積も確認された。覆土の土質は全般にしまりが無く軟質。隣接する2号歎状遺構と同様である。

〔遺物〕 断片化した古代の土器が各所から出土した。時代的な観点より、これらは古代の遺構外出土遺物の方に掲載している（図70）。

第2号歎状遺構（図70・72～74）

〔概要〕 十和田a火山灰降下後以後に作られた遺構である。新旧あり、溝の軸がほぼ直交する。双方の具体的な時期は定かではないが、重複関係や土壤の堆積状況から中・近世以降と判断される。いずれにせよ、重複関係より、近代以降の何れかの段階に設けられたと推測される溝（A地点）より古いことだけは確かである。

〔他の遺構との重複〕 古代の1号掘立柱建物跡と2号円形周溝を破壊している。

〔歎状遺構同士の重複〕 南北方向に溝の軸を持つものが古く（図73）、同じく東西方向に溝の軸を持つものが新しい（図72）。参考までに、溝底面の標高は、新旧でほとんど差は無く、時期差が少ないと可能性を指摘し得る。

〔確認面〕 Ⅱ～Ⅲ層であり、底面はⅢ～Ⅴ層となる。調査区際にある土層断面図（G-G'）、調査区全体に広がるⅡ層が見当たらない点を考慮すると、本遺構周辺のみ、人為的にⅡ層が除去されたと理解しておきたい。ちなみにこのⅡ層は、白頭山火山灰の降下後から中・近世あたりにかけて形成された層とされている。

〔堆積土〕 黒色土を主体とする。古代の火山灰層を破壊した地点では、それら火山灰の二次堆積も確認された。覆土の土質は全般にしまりが無く軟質。隣接する1号歎状遺構と同様である。先に述べたように、遺構上部にⅡ層が形成されず、他とはやや異なった土壤が確認されている（I b層）。

〔遺物〕 断片化した古代の土器が各所で出土した。時代的な観点より、これらは古代の遺構外出土遺物の方に掲載している（図70）。

e. 焼土遺構

2基検出された。詳細は明らかにできないが、3号は白頭山火山灰降下以後の時期に形成されたと考えられる。個別の遺構について述べる前に、主な留意点を以下に記す。

〔遺構番号〕 前回の報告で2基報告している。よって、今回の2基は3号と4号となる。

第3号焼土遺構（図74）

〔概要〕 白頭山火山灰降下以後の時期に形成されたと考えられる焼土遺構。

〔確認面〕 Ⅱ層下部からⅢ層上部である。

〔形状等〕 調査区際で一部を確認したに過ぎないが、円形と思われる。土層断面からは、上部よりも下部の色調が強く、土坑状に窪んだ遺構の底部が被熱しているようにもみえるが、今回の調査では判断し切れなかった。

〔遺物〕 確認されなかった。

第4号焼土遺構(図74)

〔概要〕 1号円形周溝の内部、Ⅲ層上部で確認。位置関係より、1号円形周溝との関連性も視野に入るところだが、これに伴うか否かの判断は困難かと思われる。

〔確認面〕 Ⅲ層上部である。

〔形状等〕 不整円形である。被熱による色調の変化や硬化具合は弱い。

〔遺物〕 確認されなかった。

f. 硬化面

調査区内に4ヶ所確認された。いずれも時期決定に関わる遺物は無い。確認面からみる限り、1・2号は縄文～古代のいずれかの可能性、3号は江戸時代以降、4号は中・近世以降となるが、下記に示すように断定はできない。4者の関係についても検証できないが、確認面の状況からすると、1号と2号、3号と4号がそれぞれ類似し、連続性も考慮されるところである。

第1号硬化面(図75)

〔概要〕 確認面より縄文前期から十和田a降下以前の間に形成された可能性があるものの、これを土壤堆積状況や遺物等によって裏付けることが困難なため、具体的な時期は判断できない。

〔確認面〕 ⅢないしⅤ層である。よって、確認面からは、一応、縄文前期から十和田a降下以前の間に形成された可能性が考えられる。しかし、上位層との関係が確かめられていないため、後世における上部からの影響・作用も無視できない。

第2号硬化面(図75)

〔概要〕 1号硬化面と同じく、確認面より縄文前期から十和田a降下以前の間に形成された可能性があるものの、これを土層観察や遺物の面から裏付けられないため、具体的な時期は不明である。

〔重複〕 溝跡によって破壊されている。

〔確認面〕 Ⅲ～Ⅴ層である。よって、確認面からは、一応、縄文前期から十和田a降下以前の間に形成された可能性が考えられる。しかし、上位層との関係が確かめられていないため、後世における上部からの影響の有無も無視できない。

第3号硬化面(図75)

〔概要〕 時期決定に関わる遺物が無く、具体的な時期は判断できないが、遺構の重複関係および検出・確認面より、近世以降と推測される。

〔重複・確認面〕 9世紀中葉～後葉の45号住居跡の埋没後に形成されたⅠ層直下～Ⅱ層上部で確認。

第4号硬化面（図75）

〔概要〕 時期決定に関わる遺物が無く、具体的な時期は判断できないが、確認面より、中・近世以降と推測される。

〔確認面〕 Ⅱ層中である。

g. 土坑

2基確認された。遺物を伴わず、遺構の検出状況からも時期特定が困難な状況である。

第4号土坑（図76）

〔構造等〕 楕円形であり、溝の両端が途切れたような形状である。確認面はⅢ～Ⅴ層、底面はⅤ層まで掘り込まれている。

〔重複〕 第9号掘立柱建物跡のPitと重複するようだが、前後関係は把握していない。

〔堆積土〕 黒色土を主体とする自然堆積を経て埋没した模様である。

〔遺物〕 出土しなかった。

第8号土坑（図76）

〔構造等〕 円形。確認面はⅢ～Ⅴ層であり、底面はⅤ層まで掘り込まれている。

〔堆積土〕 黒色土を主体とする自然堆積を経て埋没した模様である。

〔遺物〕 確認されなかった。

h. 遺構外出土遺物

銅錢が2枚出土した（図76）。1は中国北宋で鋳造された元祐通寶（1089年初鋳）、2がいわゆる新寛永（1697年初鋳）である。

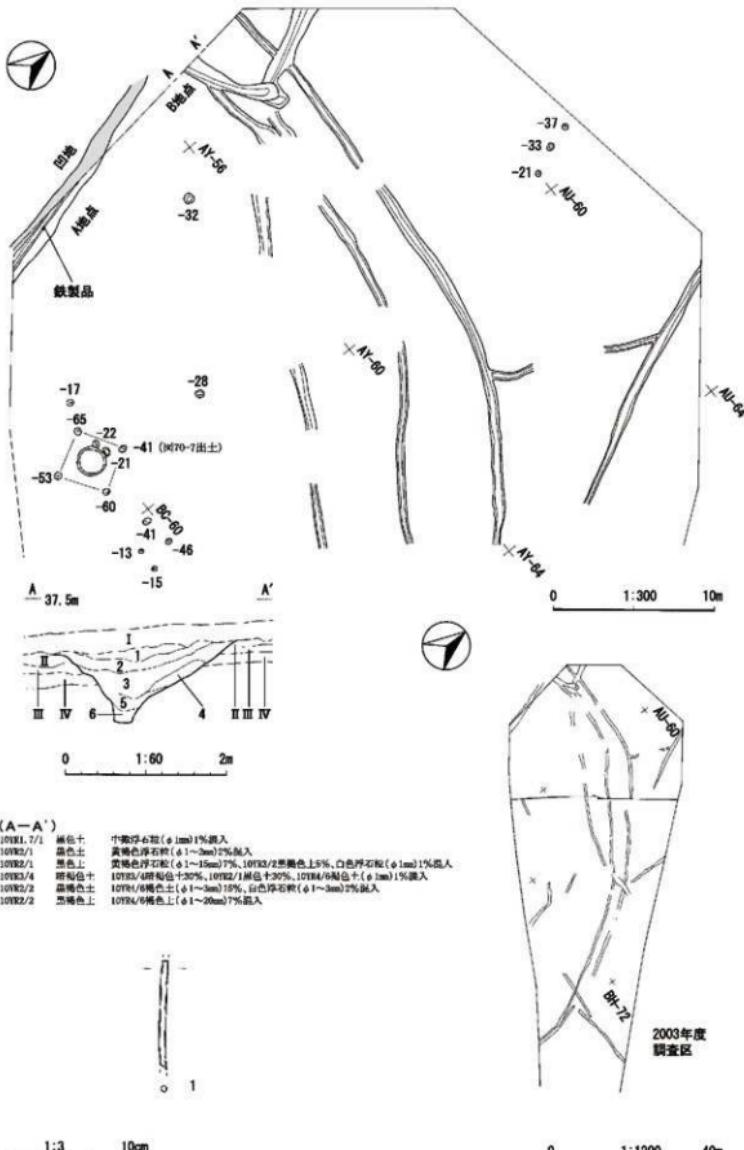


図71 溝跡・Pit

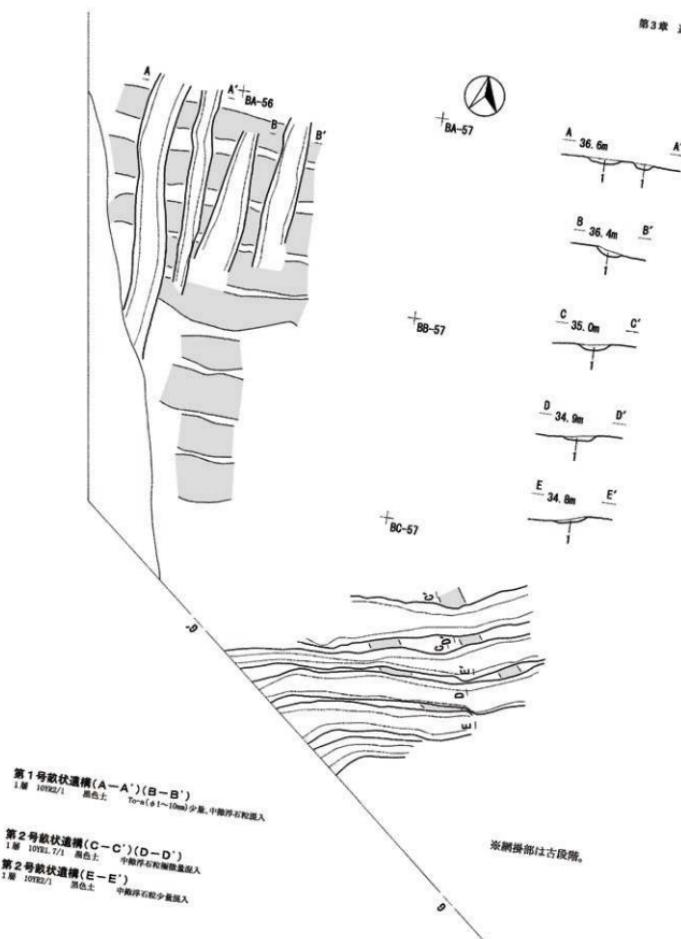


図72 第1号・第2号歓状遺構 (新段階)

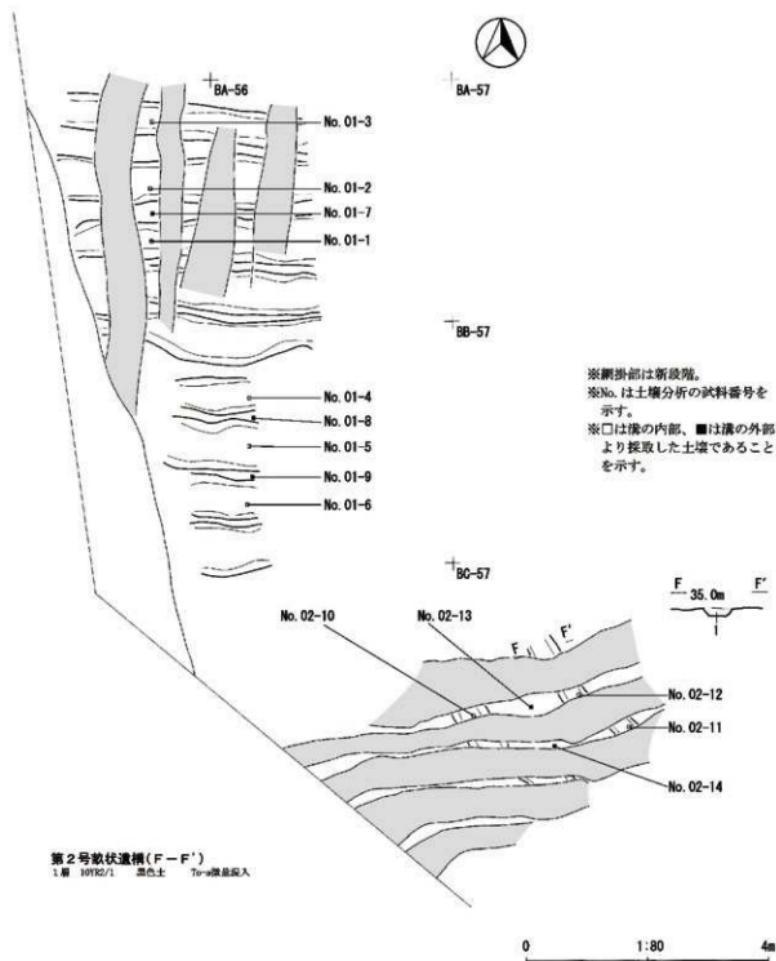
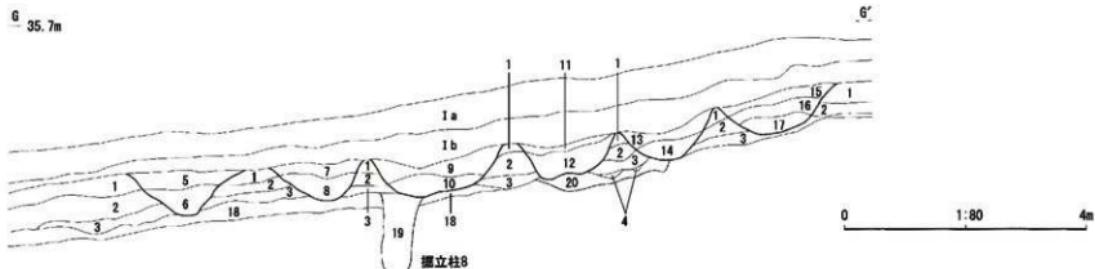


図73 第1号・第2号斜状造構(古段階)

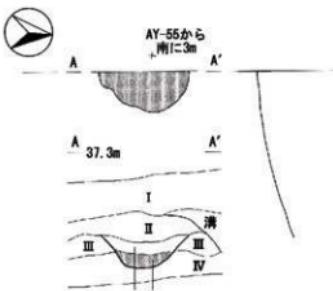


第2号焼土遺構 (G-G')

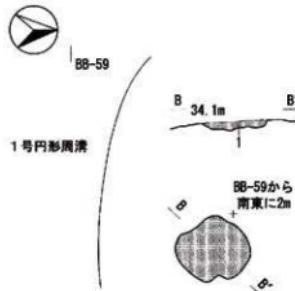
1層	10YR1.7/1	褐色土
2層	10YR2.2/2	褐色土
3層	10YR2.1/1	褐色土
4層	10YR2.1/1	褐色土
5層	10YR1.7/1	褐色土

6層	10YR1.7/1	褐色土 10YR2.1褐色土下部に5%混入
7層	10YR2.1/1	褐色土 5-Ya混入
8層	10YR2.2/2	褐色土
9層	10YR1.7/1	褐色土
10層	10YR2.1/1	褐色土 10YR2.2褐色土10%混入
11層	10YR2.1/1	褐色土 10YR2.2褐色土10%混入
12層	10YR1.7/1	褐色土 10YR2.2褐色土下部に5%混入

13層	10YR2.1/1	褐色土
14層	10YR1.7/1	褐色土
15層	10YR1.7/1	褐色土
16層	10YR1.7/1	褐色土
17層	10YR2.1/1	褐色土 中性界70%少量混入
18層	10YR2.2/3	褐色土
19層	10YR2.2/2	褐色土 10YR2.2褐色土10%混入
20層	10YR2.2/3	褐色土 10YR2.2褐色土10%混入



第3号焼土遺構



第4号焼土遺構

第3号焼土遺構
1層 10YR2.4 呈褐色土 7.584/6褐色燒成粘土 ($\phi 1\sim30mm$) 中量混入
2層 7.5TR2.6 呈褐色土 7.584/6褐色燒成粘土 ($\phi 1\sim30mm$) 中量混入

第4号焼土遺構
1層 7.5TR2.2 呈褐色土 7.5TR5/6褐色燒成粘土 少量混入

0 1:80 1m

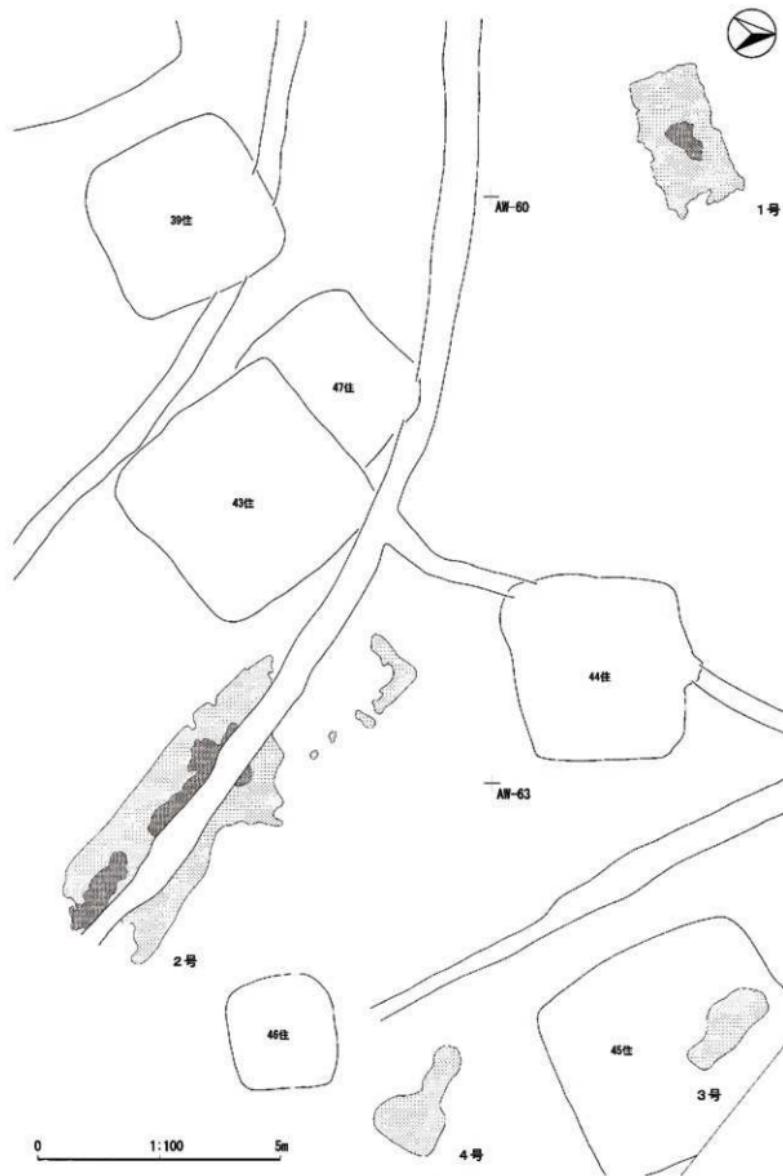


図75 硬化面

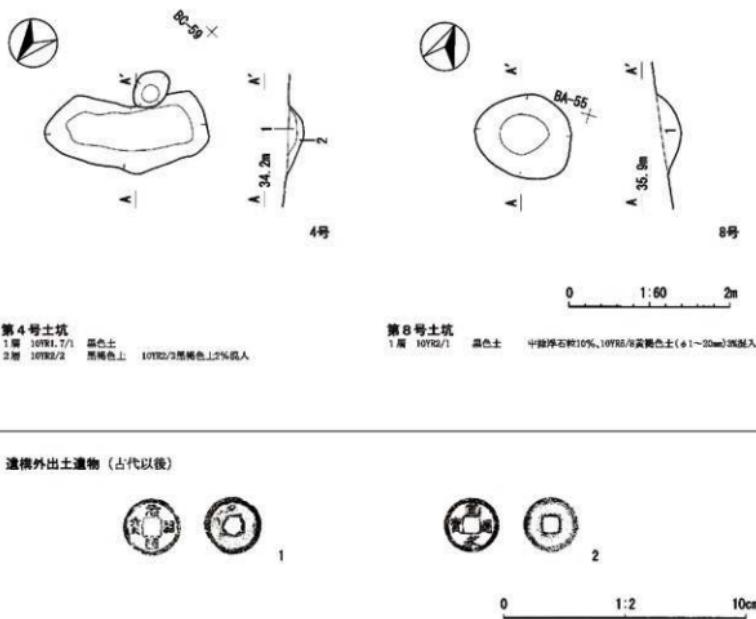


图76 第4号・第8号土坑・遺物外出土遺物（古代以後）

遺構計測表・遺物觀察表

住居跡

図版番号	住居名	主な位置	壁面面	規模 (m) ※1	床面積 (m ²)	主軸方向	柱穴配置 ※2	壁構 組合	轟下大山古窯※3	既失の有無 ※4	分析※5	備考	年代
12	32a号	AI-59	■	1.6×2.0	3.5	—	C	○ ○ ○	1層	— ×			9世紀中葉～後葉頃か。
13	32b号	AI-60	■	(3.2)×4.8	(13.2)	—	A-3	○ ○ ○	—	— ○	糊・粘	3・5層に人為的な土と遺物の投込。	7世紀後半～8世紀初頭頃。
17	33号	AV-58	■	4.4×3.7	14.6	N-25°-W	A-3	○ ○ ○	—	— ○	糊・粘・繩		7世紀後半。
22	34号	AV-56	■	(2.6)×3.8	(8.6)	—	C6+	○ ○ ○	—	— ×	繩・ガラス	2層に人為堆積層。	7世紀後半～8世紀初頭頃。
25	35号	AK-55	■	2.2×2.2	(4.2)	N-16°-W	E	× × ○	2層	— ×	粘・繩	出入口。	9世紀中葉～後葉頃か。
—	36号	—	—	—	—	—	—	— ○ ○ ○	—	—	—	—	欠番
26	37号	AK-57	■	3.4×3.9	12.5	N-31°-W	A-3	○ ○ ○	1層	— ×	粘		7世紀後半～8世紀初頭頃。
31	38号	AZ-58	■	5.2×5.9	28.1	N-28°-W	A-3	○ ○ ○	2層	— ×	粘・繩		7世紀後半～8世紀初頭頃。
36	39号	AV-59	■	3.0×2.9	7.6	N-28°-W	C	○ ○ ○	—	— ×	粘	1層に人為堆積層。	7世紀後半～8世紀初頭頃。
38	40号	BD-59	■	2.0×1.8	3.7	—	E	× ○ ○	—	— ×			不明。 9世紀中葉～後葉以前。
39	41号	BD-59	■	1.8×1.4	2.5	—	C	○ × ○	2層	— ×	粘		9世紀中葉～後葉頃。
43	42号	BA-61	■	4.7×4.8	21.0	N-31°-W	E	× ○ ○	2層	— △	糊・粘		9世紀中葉～後葉頃。
50	43号	AV-61	■～IV	3.7×3.8	12.2	N-50°-E	C	○ ○ ○	3層	2層 ×	粘・繩・粘		9世紀中葉～後葉頃。
53	44号	AV-62	■～VI	3.3×3.3	10.3	N-48°-W	D	× ○ ○	1層	— ×	粘・繩・粘	南西壁にトンネル状の入り込みあり。	9世紀中葉～後葉頃。
57	45号	AV-64	■	4.2×3.8	(14.3)	N-18°-W	D	× ○ ○	3層	1層 ×	粘・繩・粘		9世紀中葉～後葉頃。
60	46号	AV-64	■～IV	1.6×1.9	2.8	N-48°-W	E	× ○ ○	—	— ×	粘		不明。 9世紀中葉～後葉頃か。
61	47号	AK-60	■～IV	3.1×(1.6)	(4.6)	N-49°-E	E6+	× ○ ○	—	— ×	粘・繩	1層に人為堆積層。 1・2層に人為的な遺物の投込。	9世紀中葉～後葉以前。 7世紀後半～8世紀初頭頃。
62	48号	AV-65	■	—	—	—	E6+	× ○ ○	—	— ×			不明。

※1：下巻の平均的な値。※2：分析と考察の項を参照。※3：全て内観と質感による。※4：△は、炭化材の検出が乏しく、既失の有無が不明。

※5：糊=炭化材の樹種同定、粘=カマドや土坑内採取粘土の分析、繩=種実同定、粘=出土土器の粘土分析、ガラス=ガラス玉の成分分析。

住居跡カマド

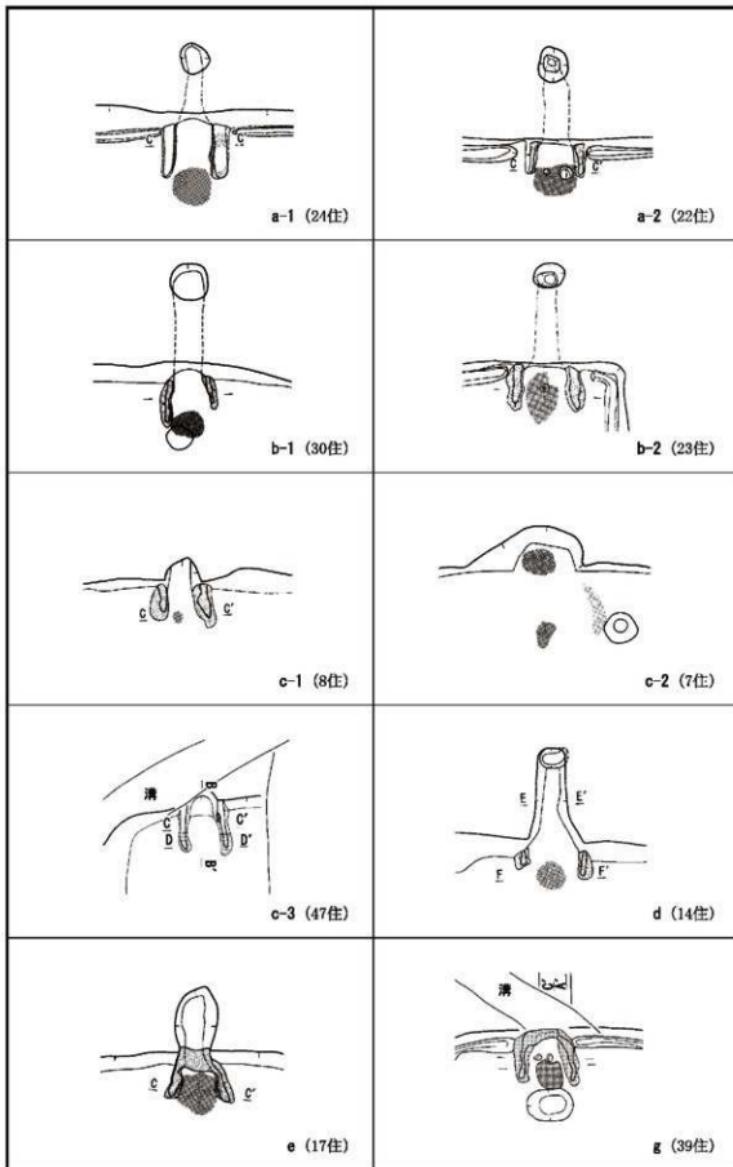
図版番号	住居名	形状	煙道部構造	煙道部長(m)	天井部構造	袖部構造	支脚	掛け	備考
-	32a号	-	-	-	-	-	-	-	カマドが存在しない。 住居覆土より軽石加工品1点出土。
-	32b号	-	-	-	-	-	-	-	調査区外に存在する可能性あり。
17	33号	b-1	地下式	0.9	白色系粘土	白色系粘土	土器軸用 軽石加工品か	2つ掛けか	煙道部底面傾斜(上方)。 煙道部と住居床面より軽石加工品2点出土。
-	34号	-	-	-	-	-	-	-	調査区外に存在し、半地下式になる可能性あり(本文参照)。
25	35号	b-1	地下式	1.1	白色系粘土	白色系粘土	未検出	不明	小穴あり。火床面不明瞭。
-	36号	-	-	-	-	-	-	-	-
26	37号	e	地下式	1.6	白色系粘土か	下部:地山削出 上部:白色系粘土 土器設置	土器軸用	2つ掛け	煙道天井部は白色系粘土によって構成されており、住居の掘り込み面よりも一段低い。煙道部先端面にはPit状の落ち込みとこれに伴う堆の盛り上がりがある。 住居覆土より軽石加工品1点出土。
32	38号	e	地下式	1.1	白色系粘土	白色系粘土 土器設置	土器軸用	2つ掛け	煙道部先端底面にPit状の落ち込み。 住居覆土より軽石加工品2点出土。
36	39号	g	無煙道式	-	白色系粘土	下部:地山削出 上部:白色系粘土	軽石加工品	2つ掛け	煙道部の存在が不明瞭。少なくとも住居外に延びることはない。
-	40号	-	-	-	-	-	-	-	カマドが存在しない。 住居床面より軽石加工品1点出土。
39	41号	-	-	-	-	-	土器支脚または 軽石加工品か	2つ掛けか	炉に近い構造であり、他の住居跡とは異なる。 付近から土製および軽石製の支撑が出土。
44	42号	b-1	地下式	1.3	未検出	白色系粘土	土器軸用	2つ掛け	煙道部底面傾斜(下方)。 住居床面より軽石加工品1点出土。
51	43号	b-1	地下式	1.1	未検出	白色系粘土	土器軸用	1つ掛け	煙道部底面傾斜(下方)。
53	44号	b-1	地下式	1.2	未検出	白色系粘土	未検出	不明	煙道部底面傾斜(下方)。
57	45号	b-2	地下式	1.2	白色系粘土	白色系粘土	軽石加工品か	2つ掛けか	煙道部底面傾斜(下方)。 煙道部先端底面にPit状の落ち込み。 カマドと住居内から軽石加工品3点出土。
60	46号	b-1	地下式	1.1	未検出	白色系粘土	未検出	不明	煙道部底面傾斜(下方)。
61	47号	c-3	半地下式	0.3	-	下部:地山削出 上部:白色系粘土	未検出	不明	
-	48号	-	-	-	-	-	-	-	調査区外に存在する可能性あり。

※次頁の模式図を参照のこと。なお、本図は、前回報告分の区分に基づき、幾つか新たな点を加えたものであり、要点は以下のとおりとなる。

煙道部構造：地下式がa・b・e類、半地下式がc・d類、無煙道式がg類。b類とe類の違いは、天井部が地山か白色系粘土かの差である。また、a-1とa-2、b-1とb-2の違いは、それぞれ煙道部底面先端におけるPit状の掘り込みの有無となっている。

袖部構造：地山削出+白色系粘土貼付がa・c-3・g類、白色系粘土のみがb・c-1・c-2・d・e類。c-1類とc-2類の違いは、火床面の形成位置である。また、e類としたものの中には、袖部の構造が地山削出というものも含まれているが(37号)、細分化が進んできたこともあり、特に区別していない。

ところで、図示していないf類は、前回の報告で構造や存在が不明なものを一括していた。2006年の調査成果が加わったことにより、分類に無理が生じてきた点もあることから、次回報告の際には再整理し、適宜、見直す必要もあるろう。



(S=1/60)

掘立柱建物跡

図版番号	遺構名	主な位置	確認面	間数	備考	
63	8号	BC-57	V・VI	2×2	Pit中心間の距離は、最大1.8m、最小1.6m。平均1.7m。	
66	9号	BD-58	V・VI	1×1	Pit中心間の距離は、最大3.2m、最小2.9m。平均3.1m。	

円形周溝

図版番号	遺構名	主な位置	確認面	規模(m)	深さ(cm)	備考
64	1号	BD-59	III	6.5	22	具体的時期は不詳。
66	2号	BC-57	III	3.4	15	十和田a 降下以前。

※計測値：規模はそれぞれの最大径を計測、深さは上端から下端までの平均的部分の深さを計測した。

土坑

図版番号	遺構名	主な位置	確認面	規模(cm)		深さ(cm)	備考	
				平面形状	開口部	底面		
76	4号	BC-58	III～V	方形	294×85	149×44	16	時期不明。
66	5号	BD-58	III	円形	184×176	158×148	10	9世紀中葉～後葉。能失か。2層に十和田a 火山灰が地盤。
11	6号	BD-58	V	円形	221×199	110×101	102	縄文時代か。
67	7号	BD-61	III	円形	151×145	134×115	20	7～9世紀代か。
76	8号	BD-55	III～V	円形	120×102	60×49	26	時期不明。

※計測値：規模は上端・下端それぞれの平均値、深さは上端から下端までの平均値を示す。

斜状遺構

図版番号	遺構名	主な位置	確認面	規模(m)	面積(m ²)	備考
72～74	1号	BA-55	II～III	8.2×2.9	25.4	東西軸が古く、南北軸が新しい。
72～74	2号	BC-57	II～III	5.2×4.1	19.6	南北軸が古く、東西軸が新しい。

※計測値：規模はそれぞれの平均的な部分を計測した。

焼土遺構

図版番号	遺構名	主な位置	確認面	規模(cm)	特徴等	
74	3号	AT-55	II～III	56×(24)		
	4号	BD-59	III層上部	51×40	1号円形周溝に接続。	

※計測値：規模はそれぞれの平均的な部分を計測した。

縄文土器

図	番号	出土地点	種別	出土層位・取上面番号	口径	器高	底径	特徴等	残存率
11	1	遺構外	圓錐	A165IV層	—	(3.4)	—	口唇部削り、剥突、沈線→刻目(既成痕跡による)。物見台式。	(5)

土師器

図	番号	出土地点	形種	出土層位・取上面番号	口径	器高	底径	外表面特徴	内面特徴	備考	残存率	
12	1	第32a号 住居跡	坪	覆土	(7.0)	(3.2)	—	ミガキ	ミガキ	内黒。	20	
	2a		圓	3層P5、覆土	(11.8)	(6.4)	—	ヨコナダ→ケズリ	ヨコナダ→ヘラナダ	32a住構跡面と接合。	(25)	
	2b		圓	3層P2-P12-P13-P14 +P15-P16-P17	—	(9.6)	(8.2)	ケズリ	ヘラナダ	32b住と接合。	(45)	
14	1	第32b号 住居跡	坪	P16-21-57、覆土	—	(4.0)	—	ケズリ→ミガキ	ミガキ	内黒。	(45)	
	2		坪	P22+48、覆土	(12.6)	3.7	—	ミガキ	ミガキ	内黒。	30	
	3		坪	P162	(16.6)	5.4	—	ヨコナダ→ミガキ	ミガキ	内黒。P162II-2+3-5層よ り検出。	95	
	4		坪	P6-14-15-47-49-55-56	(18.0)	6.0	—	ケズリ→ミガキ	ミガキ	内黒。	50	
	5		坪	P8-9+10-56、覆土	(17.5)	5.1	—	ミガキ+ケズリ	ミガキ	内黒。34住覆土。A156Ⅳ層と 接合。	90	
	6		坪	P130-136-139-141	(19.6)	4.0	—	ミガキ+ケズリ	ミガキ	内黒。P130-136-139-141 (は1-3-5層より検出)。	45	
15	7	第32b号 住居跡	坪	P2-4-150-152	(12.4)	9.7	—	ハケメ→ミガキ	ミガキ	内黒。P150-152II-2+3-5 層より検出。A160IV層と 接合。	45	
	8		坪	P24-32-33	(11.4)	7.2	(4.8)	ミガキ	ミガキ	内黒。	40	
	9		圓	P32	(14.2)	(7.1)	—	ヨコナダ→ハケメ	ヨコナダ→ユビナダ →ヘラナダ	37住覆土P14と接合。	(25)	
	10		圓	P18、覆土	—	(8.3)	7.7	ハケメ	ヘラナダ	32a住覆土と接合。	(60)	
	11		圓	P1-2-3-79-98-149-153	(18.0)	(22.5)	(5.9)	ハケメ→ヨコナダ→ミガキ	ヨコナダ→ハケメ→ミガキ	外底面に木底面。 P1-49-153は1-2-3-5層よ り検出。	30	
	12		圓	P154	(16.2)	(10.9)	—	ハケメ→ヨコナダ→ミガキ	ハケメ→ミガキ	P154II-2+3-5層より 検出。	(25)	
16	13	第32b号 住居跡	圓	P39+157-166	—	(11.1)	—	ハケメ	ハケメ→ヘラナダ	P157-166は1-2-3-5層よ り検出。	(60)	
	14		圓	P1-64-66-69-70-76 +77-80-81-109-113 +114-115-125-126-127- 128-131-135-146-148-174- 187	—	16.6	23.4	(5.4)	ヨコナダ→ケズリ	ヨコナダ →ハケメ	P125-126-127-128-131- 135-145-187II-2+3-5層 より検出。32a住P14層と接合。 P68-166と接合。	90
	15		圓	P25-26-31-42-156 +158-160-165-179-180- 181-185-188-189-191- 192	—	16.4	(18.7)	—	ハケメ→ミガキ	ハケメ→ミガキ	P156-158-160-165-180- 181は1-2-3-5層より 検出。32a住覆土。35住覆土 と接合。	(65)
	1		坪	P21、覆土	(11.9)	4.0	(6.1)	ヨコナダ→ミガキ	ミガキ	内黒。	35	
	2		壁調査	P135	—	(10.9)	6.2	ミガキ	ヘラナダ		(70)	
	3		圓	P144-145	14.9	(14.6)	—	ヨコナダ→ハケメ→ミガキ			90	
19	4	第33号 住居跡	圓	P177	—	(13.2)	5.3	ヨコナダ→ハケメ→ミガキ	ハケメ→ミガキ	カマド支脚に転用。	(90)	
	5		圓	覆土P33-55-136-137- 138-139-141、底底 P165-166-167、覆土	—	17.9	24.2	(6.7)	ハケメ→ヨコナダ →ハケメ→ミガキ	ヨコナダ→ハケメ→ミガキ		65
	6		圓	覆土P11-88-89-90-94* 95-97-101-102-104- 105-107-117	—	(18.8)	23.7	(6.4)	ヨコナダ→ケズリ	ハケメ		25
	1		坪	覆土P9-10-11-18-27- 39-40-57-59-61-63	(14.0)	10.6	—	ハケメ→ミガキ	ハケメ→ミガキ。 底面付近ハフナダ		65	
	2		圓	P27	—	(8.0)	—	ヨコナダ→ケズリ	ヨコナダ→ヘラナダ →ユビナダ		(30)	
	3a		圓	覆土P2-23-24-25-26- 32-62、覆土	(9.6)	(10.6)	—	ヨコナダ→ケズリ →ミガキ	ヨコナダ→ハケメ		(55)	
23	3b	第34号 住居跡	圓	P20、覆土	—	(5.0)	(5.5)	ケズリ→ミガキ	ハケメ		(25)	
	4a		圓	覆土	—	(3.1)	—	ヨコナダ	ヨコナダ	口縁部に波状の剥突。35 住覆土P13、A155Ⅳ層と接 合。	(20)	
	4b		圓	P16-28-33-73-74、覆土	—	(9.4)	6.8	ハケメ→ヨコナダ→ミガキ	ハケメ		(45)	

図	番号	出土地点	基盤	出土層位・取上番号	口径	器高	底径	外表面徴	内面特徴	備考	残存率
25	1	第36号住居跡	甌	P25	8.8	8.2	6.5	ヨコナダ→ケズリ	ヨコナダ→ヘナダ		90
	1		甌	カマドソーデ覆土P288	13.2	(4.2)	—	ヘラナダ→ケズリ	ミガキ		35
	2		甌	20層P273	—	(3.7)	—	ハケメ→ミガキ	ミガキ	内墨,	(90)
	3		甌	覆土P83-104-111-120	(12.2)	(4.9)	—	ヘラナダ→ケズリ→ミガキ	ミガキ	内墨,	25
	4		甌	覆土P89-70-245	(13.5)	6.2	(7.6)	ヨコナダ→ミガキ→ケズリ	ミガキ	内墨, B860IV層と接合。	20
	5		甌	20層P271	(17.6)	5.0	—	ヨコナダ→ケズリ→ミガキ	ハケメ→ミガキ	内墨,	55
	6		甌	覆土P74、櫻土	(17.0)	5.0	—	ケズリ→ハケメ→ミガキ	ミガキ	内墨, 第1層P27, B856 I層と接合。	45
	7		甌	覆土P33-55-57-64-85-93-108-109、櫻土	(17.8)	6.2	7.0	ミガキ	ミガキ		55
	8		甌	覆土P7-11-13-2層 P128-129-131、櫻土	(16.1)	(5.3)	—	ケズリ→ヨコナダ→ミガキ	ミガキ	内墨,	50
	9		甌	覆土P20-22、櫻土P196-201、210、56層P142、櫻土	11.1	7.0	5.5	ミガキ	ミガキ	外底面に植物の葉茎、もし くは茎の压痕あり。	80
	10		甌	P275	6.4	6.9	3.5	ハケメ→ミガキ	ハケメ		100
29	11	第37号住居跡	甌	P292	14.0	11.3	6.8	ヨコナダ→ハケメ	ハケメ	カマド支脚に転用。	90
	12		甌	P291	—	(14.4)	7.5	ケズリ→ミガキ	ハケメ	カマド支脚に転用。	(65)
	13		甌	P290、カマドソーデ覆土P287	14.4	25.4	6.7	ハケメ→ヨコナダ	ヨコナダ→ハケメ	34住居P98と接合。	65
	14		甌	カマド覆土P289	(20.8)	(27.2)	6.3	ヨコナダ→ハケメ	ヨコナダ→ハケメ		65
30	15	第28号住居跡	甌	P272, 20層P274	15.2	15.9	6.6	ヨコナダ→ハケメ	ヨコナダ→ハケメ	外底面に木葉痕。	80
	16		甌	2層P122、覆土P12-34、4 層P223、5層P42、櫻土	—	(5.3)	(12.6)	ミガキ	ハケメ	胎土に黒雲母入る。外底 面に木葉痕、36住P10-覆 土、B861 I層、A260 I層と 接合。	(50)
	17		甌	覆土P78	—	(2.8)	—	ミガキ	ミガキ		(5)
34	1	第38号住居跡	甌	覆土P3-4, 3層P163、 覆土	(13.5)	6.5	5.9	ヨクロ	ヨクロ	外底面に回転条切痕。	40
	2		甌	P23	14.8	(12.6)	—	ヨコナダ→ケズリ	ヨコナダ→ハケメ→ケズリ		85
	3		甌	P319	—	(11.5)	7.2	ハケメ→ミガキ	ハケメ	カマド支脚に転用。	(85)
	4		甌	P320	12.6	11.9	6.1	ハケメ→ヨコナダ→ ケズリ→ミガキ	ヨコナダ→ハケメ→ ミガキ	カマド支脚に転用。	100
	5		甌	覆土P183	17.1	21.2	6.5	ヨコナダ→ハケメ→ミガキ	ヨコナダ→ヘナダ→ ハケメ→ミガキ	外底面に木葉痕。	90
	6		甌	カマド上層P261-264→ 266-267-269-270、カマ ド下層P267-270、カマド 上層P301-304-305-308 309-314、櫻土	15.1	18.7	(6.8)	ヨコナダ→ケズリ→ ハケメ	ハケメ		65
36	7	第39号住居跡	甌	カマド上層P265-268→ 270、カマド覆土P206- 307-309-310、9層P172、 櫻土P227-318、櫻土	18.1	25.0	7.3	ハケメ→ヨコナダ→ ハケメ→ミガキ	ヨコナダ→ハケメ→ミガキ	外底面に木葉痕。	90
	8		甌	P217-318、カマド上層 P272-273-374、カマド 覆土P303-316	18.2	30.3	7.2	ヨコナダ→ハケメ→ ケズリ→ナダ	ヨコナダ→ハケメ	外底面に木葉痕。	85
37	1	第39号住居跡	甌	P28	13.9	6.3	—	ミガキ	ミガキ	内墨,	100
	2		甌	覆土P6-6-27	(14.6)	(5.6)	—	ヨコナダ→ミガキ	ミガキ	内墨,	(25)
	3		甌	4層P62, 12層P59	(15.7)	(6.0)	—	ヨコナダ→ミガキ	ミガキ	内墨,	45
38	1	第40号住居跡	甌	床底P9	(12.6)	(4.1)	—	ミガキ	ミガキ	内墨, 41住P119-覆土、G1 住末P788-190-191と接 合。	30
	2		甌	覆土P1	—	(8.6)	—	ハケメ→ミガキ	ハケメ		20
40	1	第41号住居跡	甌	覆土P105	—	(3.9)	—	ハケメ→ミガキ	ハケメ	被擦孔らしきものあり。 B859 I層と接合。図6-3 と同一個体。	(10)
45	1	第42号住居跡	甌	床底P205-206-207→ 208-209-210-211-212- 214-215-216	15.3	7.8	7.1	ヨクロ	ヘナダ→ミガキ	外底面に回転条切痕。	80
	2		甌	覆土P176、床底P189、床 底P204-253、櫻土	(15.2)	7.0	(7.1)	ヨクロ	ミガキ	内墨, 外底面に回転条切痕。	55
	3		甌	P239	—	9.1	4.2	4.8	ヨクロ	外底面に回転条切痕。	100